

## 第3回清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会

次 第

日時：2023年4月27日（木）15時～（16時30分）

場所：清瀬市役所－研修室1・2

### 1. 新任委員の紹介

参考資料1

### 2. 前回の議事・グループワークのまとめ … 事務局

- ・第2回基本構想及び基本計画策定委員会議事録案 資料1
- ・新しい学校施設づくりの目標グループワークメモまとめ 資料2

### 3. 議題

報告事項

- (1) 基本計画スケジュール 資料3
- (2) 第2回清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップ 資料4・参考資料2
- (3) 学校支援本部コーディネーターヒヤリング報告 資料5・参考資料3～6
- (4) 現時点の計画条件について 資料6・参考資料7・8

協議事項

- (5) 新しい学校施設づくりの目標（案） 資料7
- (6) 小中のつながりを活かした新しい学校の教育的可能性 資料8・参考資料9

### 4. 次回の日程調整

- ・第4回策定委員会 視察（予定） 参考資料10
- ・第3回市民ワークショップ

## □資料

- 資料 1：第 2 回清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会議事録案
- 資料 2-1：新しい学校施設づくりの目標 グループワーク 各委員のメモ
- 資料 2-2：策定委員会グループワーク 「新しい学校施設づくりの目標」概要
- 資料 3：清瀬市立新小学校 基本構想・基本計画 スケジュール修正案
- 資料 4：第二回 清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップまとめ
- 資料 5：学校支援本部コーディネーターヒヤリング要旨
- 資料 6：現時点の計画条件について
- 資料 7：新しい学校施設づくりの目標（案）
- 資料 8：小中のつながりを活かした新しい学校の教育的可能性について
- 参考資料 1： 委員名簿
- 参考資料 2-1： 第二回 清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップ 記録
- 参考資料 2-2： 第 2 回市民ワークショップ 事例写真
- 参考資料 3： 学校支援本部について
- 参考資料 4： 図書館リニューアル（清瀬中学校）
- 参考資料 5： 清瀬小学校ボランティア募集
- 参考資料 6： これからの中学校と地域（文部科学省資料）
- 参考資料 7： 清瀬小学校・清瀬中学校 平面イメージ
- 参考資料 8： 清瀬市特別支援学級再編計画
- 参考資料 9： 小中一貫校のタイプ
- 参考資料 10： 視察候補

清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定 第2回策定委員会 議事録（案）	
日 時)	2023年2月7日（火） 15時～17時
出席者)	策定委員 長澤委員長 斎藤副委員長 谷口委員 相蘇委員 笠原委員 中越委員 江村委員 侯野委員 高野委員 宮本委員 佐藤委員 事務局 北平課長、若野氏、野島、島田、根岸（記録）
欠席者)	紅林委員
資料 )	次第、第1回策定委員会議事録案（資料1）、 清瀬小学校教職員アンケート結果概要（資料2）、 第1回市民ワークショップ発表まとめ（資料3）、ワークショップ付箋の記録（資料4）、 新しい学校施設づくりの目標グループワークの進め方（資料5）、参考事例リスト（資料6）、 特別講演会YouTube情報（資料7）、第2回市民ワークショップのお知らせ（資料8） 敷地周辺環境（参考資料1）、清瀬小学校 校内写真（参考資料2）

## 1. 委員の紹介（前回欠席委員） \*事務局より紹介

## 2. 前回議事録の確認

- ・議事録に誤りがあった場合は、後日修正とする。

## 3. 議題

### （1）教職員アンケート結果報告

\*概要を事務局より報告

長澤委員長

- ・報告を受けてご意見・ご感想はありますか。

谷口委員

- ・まとめ資料は写真等も載っていてわかりやすいが、人が写っていない写真であり、広さが伝わりにくいので補足する。
- ・教室前の廊下は狭く、ある期間には廊下に荷物を置くこともある。ロッカーも昔のサイズであり、ランドセルを入れるといっぱいで、ものを置く場所がないのが課題である。
- ・職員室は机間が狭く、すれ違うことが難しい。外部の指導者や時間講師の方々が使う机も職員室内に用意しており、机ばかりで職員室が手狭である。配線も多く、ガムテープで固定しているが、剥がれたり躓いたりするため危ない。そのような状況を踏まえ、働きやすい環境を用意したいという教職員の希望につながっている。
- ・新型コロナなどの感染症対策として、教室の窓を開放しているが、廊下側のドアに窓がなく、ドア自体を開放している。中には寒さで上着を着て授業を受けている児童もいる。

- ・補足は以上だが、わかる範囲で質問があればお答えしたい。

長澤委員長

- ・現状の施設の課題についてはご指摘いただいた内容がアンケート回答にもみられる。更に、未来に向けた施設環境の在り方を先生方に伺いながら、委員会でも検討していかなければと思う。

## (2) 第1回清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップの報告

\*概要を事務局より報告

長澤委員長

- ・私も参加したが、参加した方々は清瀬の街が大好きで、清瀬市の良さを如何に活かし、どのように伝えていくかという観点で意見交換されていたように思う。それらの考えは学校施設づくりのベースとなるだろう。
- ・学校教育の場としてだけではなく、地域活動の場や避難所の役割についても意見が出された。
- ・各チームの名前には思いが込められている。

谷口委員

- ・当日は数名の職員も参加した。様々な立場の人が混じって意見交換をした。
- ・本校のことを多くの方と意見交換できたことは、とてもよい機会であった。こんな視点の意見もあるんだという側面もあった。地域や卒業生としての視点、使い手としての視点があった。
- ・その中にトイレの課題があった。新しい施設として改善していくことに加え、日常的に環境を整えていくことが必要だと感じている。
- ・清瀬市のモデルとなるよう意見が出されたことが印象的だった。

## (3) 現在の施設環境について

\*資料配布のみ

## (4) グループワーク：新しい学校施設づくりの目標

発表内容を以下に示す。

Aグループ 中越委員

- ・タブレットの持ち帰りが大変なので課題である。（タブレットを使った）授業は楽しいと子どもに聞いているが、更に活用した活動があるとよい。
- ・少人数授業を増やしてほしい。
- ・DX化できるとよい。
- ・トイレをきれいにしたい。
- ・廊下を広くしたい。
- ・地域向けのセミナー開催等を行う事で保護者の参加を促すことができるとよい。世代に応じたテーマがあると参加者が多くなりそうだ。学校に入りやすくなるソフトの取り組みがあるとよい。

- ・PTAも小中学校で連携できるとよい。活動内容が違うこともあり、今は連携できておらず、学校支援本部がサポートしてくれている。従来の大変なPTA活動のイメージを変えて、多くの保護者参加を促したい。
- ・リラックスできる場所をつくってほしい。（おしゃべり等ができる居場所、カフェ的なスペースの設置など）
- ・メンテナンスのしやすい施設にできるとよい。
- ・環境問題を学ぶ施設になるとよい。
- ・電力の自家発電があるとよい。
- ・児童の登下校時の見守りシステム「ついたもん」については市全体で対応を要望したい。
- ・入館管理がしやすいようにカードをかざして開閉できるようなシステムの導入が検討できるとよい。
- ・中学校の学校支援本部で図書室を改装したが、中学校も環境を整えられるとよい。

#### Bグループ 相蘇委員

- ・学校は教育の場であるということを一番に考えることが大切である。
- ・将来、50年後、100年後で教育のあり方や考えも変わるだろう。その時々に対応できるようなフレキシブルに変化できる施設が求められる。
- ・清瀬小学校の整備が今後の学校づくりの基盤（フラッグシップ）となるよう、市役所の景観と合わせて整備できるとよい。
- ・例えば、外構フェンスがなく、校舎自体がフェンスを兼ねるようなつくりもよさそうだ。
- ・その他の細かな内容も議論されたがホワイトボードに記載している。

#### 長澤委員長

- ・学校は、子どもの学びの場であると共に、大人が学び続ける場でもあるとの意見もあった。大人が学び続ける姿は子に伝わっていく。そのような場として捉え直すことが大切である。
- ・地域向けのセミナー等のイベントの企画という意見もあったが、普段から学校に大人も来れる場づくりが目標になってくるのではないか。
- ・子どもの姿がいつも見えている環境で、地域全体で子どもを育てる場が学校である。学校が集まりの場になることで生まれる可能性が考えられるとよい。
- ・あるコミュニティスクールでは、ダンス・絵画・地域の遊び等、それぞれ教えられる地域の人が学校教育に参加することで、教える側も教えられる側もよい経験ができている。
- ・ある学校では、避難施設として指定されていなかったが、大規模災害で避難が必要となった時に向かったのは学校だった。地域と共に体制を整えて避難所の運営をした。それは、日常的な地域と学校の連携があってこそ可能だったと言えるだろう。日常的な連携が地域づくりにも繋がる。
- ・外構のフェンスについて意見があったが、庁舎と向かい合う校舎は、市の顔づくりともいえる。清瀬市の新しい顔をつくる、清瀬のへそをつくるということである。学校側にもよい歩行空間を設けるなど、市役所と一体となったよい街路空間にしていくことも考えられる。

- ・社会が大きく変化する中、これから100年使い続けられる施設を目指し、新しい環境に柔軟に対応できる施設づくりができるとよい。
- ・学校づくりのフラグシップとして、景観・建物等の具体的なアイデアも出されていた。料理の仕方は様々あるので、引き続き意見を出し合いながら検討を進めていきたい。

#### (5) 参考事例の紹介（視察候補）

- ・策定委員会で、先進事例の視察を計画している。今年の5月頃を予定しているが、資料6は、その候補をピックアップした資料としている。
- ・視察は受け入れ先の自治体に日程等を確認する必要があるため、事務局にて検討・調整していく。

長澤委員長

- ・先方の予定も確認して、早めに告知するように事務局にお願いしたい。
- ・視察してみたいという学校があれば、事務局に伝えてほしい。

#### 4. 情報共有

- ・特別講演会のyoutube公開のお知らせ
- ・第2回市民ワークショップの開催のお知らせ

#### 5. 次回の日程

- ・後日、調整を行う。

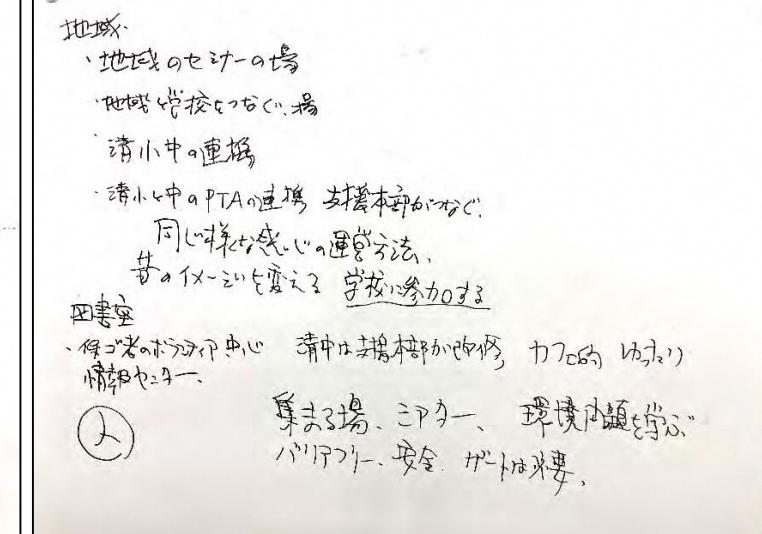
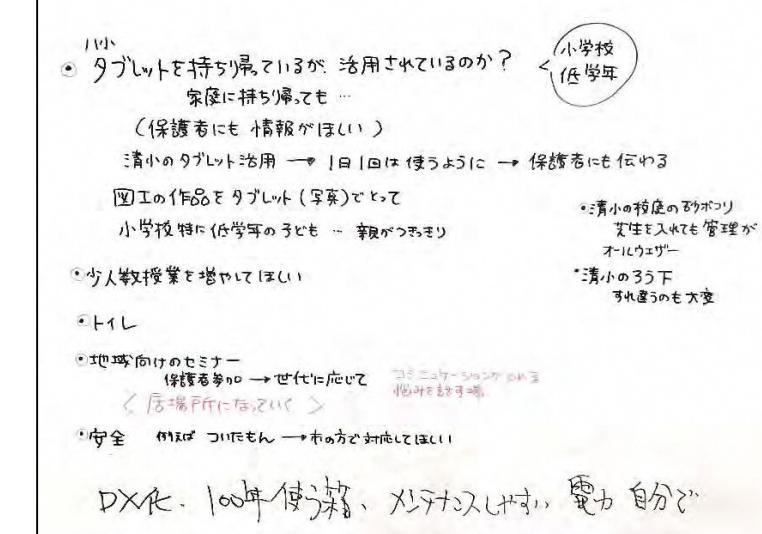
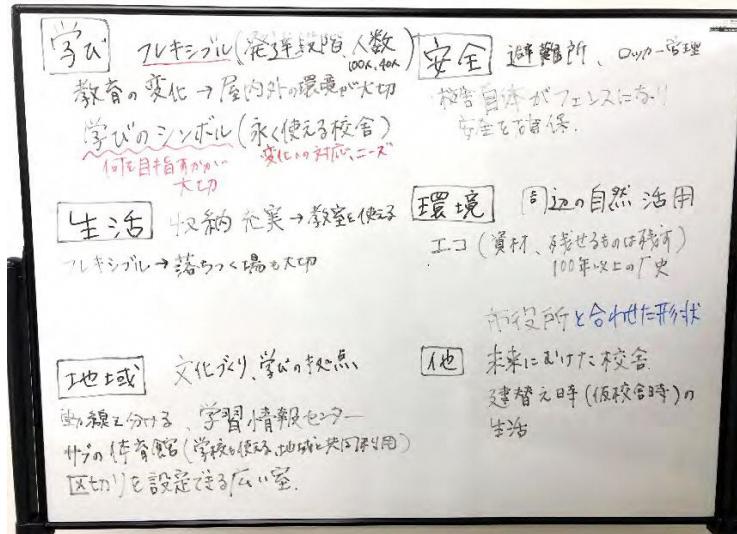
以上

## 新しい学校施設づくりの目標 グループワーク 各委員のメモ

	学び	生活	地域	安全	環境	その他
齋藤 副委員長	落ち着いて勉強ができる教室 様々な学年でまとまって活動できる場所	過ごしやすい ゆとり環境 食育→学校内の菜園	地域の方々が集える場所と学校とつながるような配置づくり	地域にも開かれる学校ではあるが、防犯・災害対策にはきちんと配慮していく エレベーターの設置（バリアフリー）	清瀬小ならではの歴史があると思うので、芝生、花壇整備、ビオトープ（自然）	清小ならではの利点→清小と清中の連携のしやすさ 電力を自校で貯える メンテナンスしやすい
谷口委員	スペース、DX化、トイレ、地域の人の流れ、全天候型の校庭	ゆっくりできる場所、登下校の安全、階段シアター	避難所、コミュニティセンター、バリアフリー、エレベーター	ついたもん、市の負担で全員に	屋上、太陽光パネル、雨水樹	保護者が来やすい学校に→子育てセミナー 教員・子ども・地域にとってヒト・モノ・コトの視点
江村委員	コロナで休止しているが、サタデースクールの活用 多様に対応できる校庭づくり		卒業生も母校として何かしら関わる、ボランティア等でもよい もっと学校に関われる場を若いうちから持てるように	ついたもんが導入されているが、加入者数が料金もかかるので少ないと聞いているので、清瀬市の方で加入するなどして、子どもの安全を守ることをしてほしい	清小の砂が舞うとあたりが白くなるほどなので、砂地の部分も配慮したほうがよい	清小は少し前までは防災キャンプ等を6年生でしていた。避難所運営でも利用するので、地域の方や生徒も加えて、いざという時の人員を育てる等防災に力を入れても良いと思う
中越委員	もう少しタブレットの活用を増やしてほしい 少人数授業を増やしてほしい クラブ活動が少ない	掃除用具の定期的な交換 フリースペースがあるとよい	保護者向けにセミナー等、もう少し保護者学校に入れるとよい。 (教育に関係なく、親世代の興味のある話題など)	登下校システムを学校単位ではなく、清瀬市全体で	自家発電、太陽光など	
高野委員	タブレット持ち帰り、活用されているのか？ ICT タブレット リース スペック クラウド 少人数制	トイレ、明るさ、広さ、清潔感、使いやすさ	セミナー、小中連携、PTA、図書室の活用、情報センター、カフェっぽく（ゆったり感）、東側道路の拡張	ついたもん、避難所、エレベーター、給食調理場	オールウェザーの校庭、メンテナンス費用の掛からないよう に、太陽光、蓄電（電力は自分で）、リサイクル、砂ぼこり、廊下広く、ロッカーの大きさ・あり方、雨水樹	100年使う箱、シアター、環境問題を学ぶ、カードは必要、フレキシブル（その時、その時に対応できる構造）、区切りを設定できる、市役所とのマッチング

## 新しい学校施設づくりの目標 グループワーク 各委員のメモ

	学び	生活	地域	安全	環境	その他
笠原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任がすべての教科を教えるのではなく、各教科で教える</li> <li>・パネルで区切る教室</li> <li>・トイレ数（和式も大事）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラス窓が多いと自然光が入るので、日光を感じられる</li> <li>・給食の食堂化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバーさんや自治会の児童との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の安全面、特に八小学校から登下校する児童の対策</li> <li>・学校と他目的施設とはきちんと区切る必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光パネル</li> <li>・地元農家の方と校庭で農作物を育てる、食べることは生きること</li> </ul>	<p>施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温水プール（地域開放も）</li> <li>・2F,3F建て体育館、区切りができるので避難所運営にもなる</li> <li>・屋外ナイター（夜間活動・災害時）</li> <li>・畳の空間、設備</li> </ul>
相蘇委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの多様性→特別支援学級の教室環境</li> <li>・施設より備品（電子黒板、デジタル教科書）</li> <li>・フレキシブルな教室の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広さ、机の大きさ、ロッカー やフック、タブレット保管</li> <li>・教室が「なんでも部屋」になっている現状</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流は難しい（学習内容の検討）同じ場所を使えば交流できるわけではない</li> <li>・地域利用と学校利用の重なりでどのように管理するのか（施設、私物（個人情報など））</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を開くとはどういうことか</li> <li>・不審者への対応、校門（玄関等）の管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市としての方針が必要 ex.校庭の芝生化→経費、養生期間の活動保証等</li> </ul>	
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習情報センター（学校図書館+ICT環境）を中心に据えた校舎設計</li> <li>・オープンスペースを各階に設置し、柔軟な教室作りができるような設定</li> <li>・ALTのタブレットを活用するイメージ「いつでも、どこでも、誰とでも会う事ができるICT」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2足制か1足制か、1足制になれば玄関の動線がすっきり</li> <li>・清瀬市と連携の市・県の木材利用、校舎の外装（デッキ等）にも利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点になることを踏まえ、棚のないフラットなつくり、遊歩道のような囲い。</li> <li>・校庭は全天候である必要はない。清瀬市の自然をいかす。ただ天然芝は維持管理費用大。人工芝もあり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育は職員室から1番近いところに設置</li> <li>・学級棟と管理棟に分け、児童生徒利用と地域開放利用の動線を分ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清瀬市役所の前であることを踏まえ、まちづくりの視点で校舎外装をマッチングさせる。</li> <li>・どれだけ現在の校舎の資材を再利用できるかわからないが、再利用したエコ建築</li> </ul>	<p>・清瀬市内一番古い学校として市の中心にあるので”学びのシンボル”を目指す</p>



## 策定委員会グループワーク 「新しい学校施設づくりの目標」 概要

<b>学び</b>	<b>●教室</b>	<b>●特別支援学級</b>	<b>●学習情報センター</b>	<b>●ICT環境</b>	<b>●タブレット</b>	<b>●授業</b>
	・落ち着いて勉強ができる教室	・子どもたちの多様性、教室環境	・学校図書館 + ICT環境を中心にして	・スペックの確保や	・タブレット活用促進	・少人数授業を増やしたい
	・フレキシブル	●多目的室等	た校舎	クラウド環境の構築	・持ち帰らない取り組み	・教科担任制
	・パネルで区切る教室	・様々な学年でまとまって活動できる場所	<b>●校庭</b>	・電子黒板、デジタル教科書	<b>●取組・行事</b>	
<b>生活</b>	<b>●オープンスペース</b>	<b>●廊下</b>	・多様に対応できる校庭づくり	・いつでも、どこでも、誰とでも		・サタデースクールの活用
	・柔軟な教室作り	・広い廊下	・全天候型の校庭	も会う		・クラブ活動が少ない
	<b>●トイレ</b>	<b>●ゆとり</b>	<b>●木材利用</b>	<b>●給食・食育</b>	<b>●履き替え</b>	<b>●課題</b>
	・明るさ、広さ、清潔感、 使いやすさ	・ゆっくりできる場所 ・過ごしやすさ	・清瀬市と連携の市・県の木材利 用	・学校内の菜園 ・給食の食堂化	・1足制になれば玄関の 動線がすっきり	・教室が「なんでも部屋」に なっている現状
<b>地域</b>	<b>●和式も大事</b>	<b>●フリースペース</b>	<b>●採光</b>			
	・和式も大事	・机の大きさ	・自然光が入る環境			
	<b>●掃除</b>	・ロッカーやフック等収納の充実				
	・掃除用具の定期的な交換					
<b>安全</b>	<b>●機能</b>	<b>●地域利用スペース</b>	<b>●課題</b>	<b>●行事等</b>	<b>●自然</b>	<b>●交流</b>
	・コミュニティセンター	・学校も利用できる地域の人が集まる場所	・交流は難しい（学習内容の検 討）同じ場所を使えば交流できる わけではない	・セミナーの実施	・清瀬市の自然をいかす。	・シルバーさんや自治会の 児童との交流
	・バリアフリーな施設	・図書室の活用				
	・保護者が学校に来やすい	・カフェっぽく	・施設や私物（個人情報など）の 管理			
<b>環境</b>	<b>●バリアフリー</b>	<b>●防犯</b>	<b>●避難所</b>	<b>●登下校の安全</b>		
	・エレベーター	・不審者への対応	・災害対策	・通学路の整備		
	<b>●特別支援学級</b>	・校門（玄関等）の管理		・八小通学路の安全性		
	・職員室から1番近いところに設 置	・学校と地域利用エリアの区画		・ついたもん（登下校安全シス テム）の		
<b>その他</b>	<b>●立地</b>	<b>●校庭</b>	<b>●畠等</b>	<b>●太陽光発電</b>	<b>●エコ</b>	
	・清瀬市役所の前であることを 踏まえた計画・外観	・芝生化（経費、養生期間）、人工芝 ・砂ぼこり ・全天候型	・地元農家の方と校庭で農作物を 育てる	・メンテナンス費用の軽減 ・蓄電システム	・活用できるものは再利用	
	<b>●環境学習</b>					
	・環境問題を学べる施設					
<b>その他</b>	<b>●小中連携</b>	<b>●体育館</b>	<b>●長寿命</b>	<b>●シンボルとしての在り方</b>	<b>●行事等</b>	
	・清小と清中の連携のしやすさ	・2F建てであれば、区切るので 避難所運営にもなる	・100年使う箱	・清瀬市内一番古い学校とし て市の中心あるので”学びのシン ボル”を目指す	・防災キャンプの実施	
	<b>●校庭</b>					
	屋外ナイター（夜間活動・災害時）					

## □ 清瀬市立新小学校 基本構想・基本計画 スケジュール修正案

第3回清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会

資料3

基本構想・基本計画 全体工程（案）	2022年（令和4年）						2023年（令和5年）												2024年（令和6年）					
	2022年度（令和4年度）						2023年度（令和5年度）																	
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
新校建築事業																								
基本構想																								
基本計画																								
事業手法																								
設計者等選定																								
会議等																								
基本計画策定委員会																								
講演会報告会																								
市民ワークショップ																								
教職員協議地域コーディネーター、NPO、学童関係者等含																								

※スケジュールは協議状況に応じて都度見直しながら進める。

## 意見が多かった写真と主な意見

第3回清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会

子どもたちが利用するスペースと地域の活動や避難所を中心に選定した92枚の写真から、  
学びの場・生活の場・地域の場の3つについて、写真を選んだ理由や意見をふせんに書きました。  
特に選んだ人が多かった7枚の写真について主な意見をまとめました。



10

## &lt;教室・教室まわり&gt;

- ・教室を広く使用することができる
- ・集団と個がそれぞれ学びやすい場をつくる  
大集団・小集団・個人・2～3人、集団構成によってそれぞれ対応できる場所があるとよい
- ・教室とオープンスペースの間にロッカースペースがある、オープンで死角がない
- ・誰が見ても目が届くのでよい（いじめ防止にも）
- ・学年で使える共有の場、クラス間交流に有効、  
フルオープンにできる扉がほしい



42



17

## &lt;図書室&gt;

- ・いろいろな椅子、好きな姿勢で読める空間
- ・リラックスして仲間とくつろぎストレスを解放できる
- ・寝転んで本を読める環境などは取り入れてほしい
- ・未就学の子どもたちも使用することができそう
- ・縁があるので、リラックスできる
- ・様々なニーズに合わせた図書館、読み聞かせなど、集めてみんなで聞くことができるスペースも大切



68



39

## &lt;屋内で運動できるスペース&gt;

- ・雨で体育ができないときや休み時間等に利用できそうだ
- ・雨の日に「廊下をはしる」がなくなりそう
- ・運動意欲、気持ちのコントロールを行う場所としてあるとよさそう
- ・屋内でも運動できるスペースがあるとよい



91



92

## &lt;階段ホール&gt;

- ・教育だけではなく様々な用途で活用できそう
- ・多目的に使える場所が必要。部屋として用意していなくてもよい
- ・階段のようなスペースがあると後方の子でもよく見える見えないことで見ない子もいると思う
- ・絶対に必要なもの、校内に2～3か所あるとよい

## &lt;デン&gt;

- ・落ち着くスペースが必要
- ・自分の感情をコントロールできる場所
- ・逃げ込む場所が「トイレ」以外にもできるとよい
- ・ホッとできる場所が必要だけど、見守る人も必要
- ・一人になりたいときに落ち着く空間があるとよい
- ・自然木を利用していてよい

## &lt;避難所機能&gt;

- ・避難所は学校のイメージがある。地域の方と一緒に訓練等ができるとよい
- ・避難所はこの写真のような場所でよいのか
- ・避難所としての学校、仕方なくカーテン等で区分けするような形ではなく、生活の場として利用できる施設をつくる
- ・多目的室や体育館ではなく、利用しやすい避難所としてのスペースを考える
- ・階段・エレベーターにも工夫が必要

# 新しい学校施設の夢を語り合おう



## ワークショップの概要

日 時：2023年3月25日（土）10：00～12：00

会 場：清瀬市役所 研修室1・2

テマ：「新しい学びの場・生活の場・地域活動の場」

内 容：当日は13名の参加があり、こんな風に学べるといいな（学びの場）、過ごせるといいな（生活の場）、使えるといいな（地域活動の場）と思う場所を事例写真の中から選び、理由を付箋に書き、良いところや課題等をグループで意見交換し、選んだ事例写真に共通する考えをまとめ、その内容をグループの代表者が発表し、考えを共有しました。

チーム 居場所

「リラックスできる学校にしたい」



チーム 安全安心

「安全・安心、心がやすらぐ学校」



チーム 明るく安心！

「施設も心もオープンに！明るく安心！！」



### <各グループの発表内容>

- ・グループワークの始めはトイレの内容が中心だった
- ・トイレはLGBTQの配慮や誰にとっても居場所となる、居心地の良い場所になるとよい
- ・学びについて大きく2つある。

1つ目は子どもが場所を選べることである。例えば集中して学習できる場、運動できる場、安らげる場等である。

2つ目に人と人がつながれる場所である。

子ども同士で机に向かい合いにして学習することや地域と学校で交流しながら学習できる場所があるとよい。



- ・子どもが過ごす場所として安全安心で楽しい場所になつてほしい。そう考えたときに、充実した施設とするためには校地が狭いと思う。子どもたちが過ごしやすい場を実現し、子どもたちに寄り添った場所にしてほしい。
- ・避難所は写真のような場所でよいとは思えない。**避難生活しやすい場として配慮**が必要であるが、写真からは読み取れない。
- ・**自然を活かしたい**。地域の人が清瀬小学校に花を植えている。そういう取組み等を通してみんなで学校づくりができるよい。
- ・保護者・児童も参加した会で意見交換できるとよい。
- ・まちづくり基本目標に達するような施設整備をしてほしい。
- ・写真にプールや管理諸室等がない。総合的な検討が必要。

- ・学びについて、クラス間がオープンスペースでつながる等、**教室を広く使えそなことと見通しがよい**ことで、いじめがなくなることも考えられそうである。
- ・生活について、トイレや共用スペース等のみんなが利用する場所は**自然光が入り明るく、色も明るい色使い**がよいと思う。
- ・地域について、**施設がオープンになることで交流がしやすくなる**とよいと思う。一方で、**セキュリティ強化が必要**となり、課題もある。
- ・**避難所として利用しやすい環境**を整備してほしい。



「学びの場」「生活の場」「地域の場」について主要な意見を以下にまとめました。

## 学びの場

### <教室>

- ・ICT環境を整えて、学校から外に繋がりやすい環境があるとよい。
- ・協働的な学習がしやすい環境があると考える力や行動力が身につく
- ・狭い教室ではなく広い環境で過ごしてもらいたい
- ・四角ではない教室



### <教室まわり>

- ・集団と個がそれぞれ学びやすい場をつくる(人数編成に対応できる場所があるとよい)
- ・教室から全てがオープンになっているところが、誰が見ても目が届くのでよい
- ・十分な収納スペースが確保できそう



### <図書室>

- ・読み聞かせなど、みんなで聞くことができるスペースも大切
- ・図書館でプログラミングや様々なことに触れられるとよい



### <階段ホール>

- ・後方の子でもよく見える
- ・絶対に必要なもの、校内に2~3か所あるとよい



### <特別教室>

- ・学習の世界に入る、教科の世界観がワクワク感を高める
- ・研究員みたいでテンションが上がる
- ・グループの意見を共有しやすい



### <屋外>

- ・屋内だけではなく実物を見てほしい
- ・教室だけではない学びの場は子どもたちの意識を変える



### <その他の意見>

- ・全天候型 庭
- ・屋内プール

## 生活の場

### <トイレ>

- ・プライバシーを守りたい
- ・外からも入れるトイレ
- ・誰でもトイレの位置は重要
- ・スペースの確保が重要
- ・LGBTQに配慮したトイレ
- ・清潔なトイレと大きな鏡の設置、鏡は自分を見つめる、客観視できる
- ・明るいトイレがよい  
(自然光、色使い)



### <掃除ステーション>

- ・清掃活動の意義、空間を分け、効果的に活用する



### <デン>

- ・モヤツ、イラッとしたときの避難場所
- ・自分の感情をコントロールできる場所
- ・逃げ込む場所が「トイレ」以外にあるとよい
- ・見守る人がいる居心地の良い場所があるとよい



### <図書室>

- ・いろいろな椅子、好きな姿勢で読める空間でリラックス



### <階段ホール>

- ・いろいろな場所で好きなことを多目的に使える場所が必要。



### <特別教室>

- ・家庭科室 子供食堂として利用できるとよい
- ・特別教室の学習教科以外の使用ができるとよい



### <屋上>

- ・テラスを緑化して、屋内・屋外の一体化をはかる
- ・ベンチ、芝生、大型遊具があるとよい



### <学童クラブ>

- ・人数が増えても対応できる  
広さが必要

### <その他の意見>

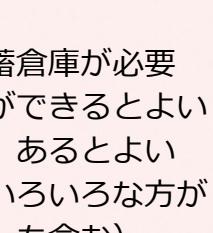
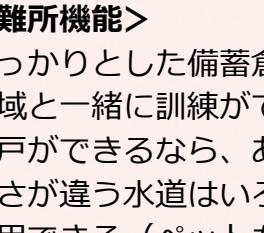
- ・LGBTQに配慮した更衣室



## 地域利用の場

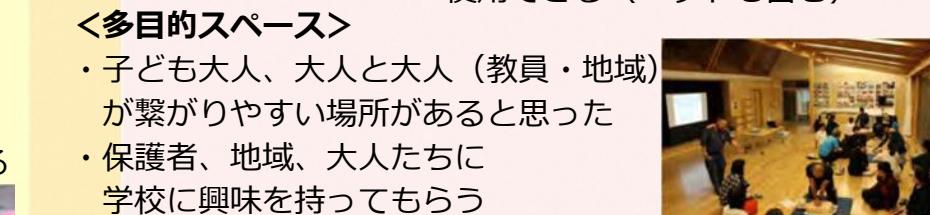
### <体育館>

- ・走路があると学校体育館の可能性を広げられそう



### <避難所機能>

- ・しっかりとした備蓄倉庫が必要
- ・地域と一緒に訓練ができるとよい
- ・井戸ができるなら、あるとよい
- ・高さが違う水道はいろいろな方が使用できる(ペットも含む)



### <多目的スペース>

- ・子ども大人、大人と大人(教員・地域)が繋がりやすい場所があると思った
- ・保護者、地域、大人たちに学校に興味を持ってもらう



### <みんなが利用できる場所>

- ・児童センター的に利用できる児童館として赤ちゃんから子ども、お年寄りも利用できる空間
- ・就学前に学校の雰囲気がわかる
- ・親子で図書室が使用できるとよい



### <階段ホール>

- ・教育だけではなく、様々な用途で活用できそう



### <職員室まわり>

- ・保護者も入りやすい



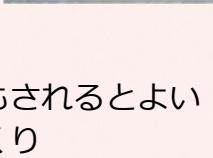
### <校庭>

- ・放課後・休日の利用ボールが使えるとよい



### <学校周辺>

- ・学校周辺の環境整備もされるとよい
- ・地域住民との関係づくり



### <その他の意見>

- ・地域資源を共有できる学校
- ・セキュリティの強化

## 第3回清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会 資料5

### 清瀬小学校・清瀬中学校 学校支援本部コーディネーター ヒアリング要旨

日時：2023年4月21日（金）10時－11時

場所：清瀬中学校 2階 図書室

参加者：清瀬小学校・清瀬中学校 学校支援本部コーディネーター 諸川氏、池田氏

清瀬市教育企画課 若野氏 教育環境研究所 野島、島田、根岸

#### 学校支援本部とは… 参考資料3参照

- ・保護者や地域の人たちと一緒にになって、学校が必要とする教育活動などを支援するために設置された組織。
- ・地域コーディネーターが中心となり、各種活動に協力してくれるボランティアを発掘し、学校のニーズとマッチングさせ、様々な活動に取り組んでいる。

#### 1. 活動内容

##### <清瀬小学校における主な活動>

- ・新年度から3年ぶりにサタデースクールを月1回のペースで実施している。子どもたちの居場所づくり、体力づくりを目的としている。
- ・木曜、金曜の朝学習で採点の手伝いをしている。朝学習のボランティア登録が5人おり、1度に2名体制で実施している。
- ・クラスで支援が必要な子どもの見守りを日常的に行っている。通常の学級にも様々な子どもがいるので、子どもたちの支援と教員支援を目的としている。
- ・講師の派遣、農家見学の手配やボランティア募集を行っている。
- ・運動会や音楽会等の行事の際は受付等も行っている。

##### <清瀬中学校における主な活動>

- ・英検を年3回、漢検を年2回実施し、当日の運営や検定費用の集金を行っている。
- ・生徒のSNS利用が多くなっているので、年1回、情報リテラシー講習をKDDIに委託している。
- ・音楽祭の開催お知らせを作成配布し、撮影委託の手配とそのDVDの販売を行っている。
- ・運動会・音楽祭等の行事の受付・運営支援を行っている。

##### <教職員との連携方法>

- ・校務分掌で割り当てられている地域連携担当教員と打ち合わせを行い、年間でこんなことをやりたいという事を確認し実行に移している。そのほか、急遽、教員からの要望があった場合にも応えられるように動いている。

##### <小中共通の活動/連携活動>

- ・小中合同で避難訓練をしている。今後は炊き出し等を含む地域の避難訓練も合同で必要ということを教員と話している。

- ・サタデースクールでサッカーをしているが、中学校のサッカー部の顧問の先生に声を掛けて生徒にコーチをお願いできないか話を進めている。
- ・小中の教員は考え方方が違うところがあるが、小中のコーディネーターを掛け持ちしていることを活かして協働できる活動を少しずつ増やして小中連携につなげたい。
- ・八小を含めた連携も考えているが、コロナによって制限されている。

#### <防災活動/地域活動>

- ・小中合同で避難所運営の訓練をしようと提案している。学校も前向きなので実現する可能性がある。
- ・市が2~3か月に1回の頻度で行っている防災活動に学校関係者の参加を求めている。
- ・中里共栄会と連携し、「火の花祭り」の運営ボランティアを小中の保護者や大学生に募集している。

#### <学校図書館の環境づくり 参考資料4参照>

- ・清瀬中の図書館の環境づくりを行っている。学校支援本部では緑を用意した。カーテンはPTAと折半で新調した。
- ・学校図書館には司書がいるため、週に数日来て排架作業等を行っている。
- ・小学校の図書館は施設も古いので、どのように環境づくりを行っていくか課題である。コロナ前は保護者の活動が活発だったのでPTAの活動と合わせて考えていきたい。

#### <ボランティア募集 参考資料5参照>

- ・ホームページでボランティア募集をしている。最近ホームページを更新し、QRコードから応募できるようにする等、わかりやすく工夫している。
- ・小中が隣接しているので、両校で活動できる人を募集している。
- ・大学生以上を募集しているが、お祭り等の行事は高校生も募集している。
- ・基本的には無償でボランティアしてもらっている。内容によっては有償の場合もある。
- ・学生でボランティア証明書を必要とする時に発行している。

#### ※ボランティア募集の課題

- ・ボランティアの参加が少ない。特に若い人の参加を求めて呼び掛けている。卒業生や学生ボランティアも増やしたい。
- ・地元に根付いた学校なので、学校に協力してくれる地域の人々はいるが、コロナ禍で高齢者の参加がむずかしくなった。
- ・コミュニティハウスではWi-Fiが繋がり、大学生の利用もあったので声を掛けやすかった。

## 2. 活動場所

- ・当初は小学校のPTA室を利用していたが、時間的にPTA活動とバッティングするので利用しなくなった。
- ・職員室にもコーディネーターが利用できる場所はない。活動場所がないのは長年の課題である。
- ・コーディネーターは常勤ではないため、教員と話したい場合は事前にアポイントを取っているが、学校の近くに来たときに顔を出してコミュニケーションを取るようにしている。
- ・個人情報や現金を扱うがあるので、鍵がある保管場所が必要である。
- ・市内にはコーディネーターの部屋がある学校もある。学校の施設環境による。

### 3. 今後の活動展望

- ・学校や保護者（PTA）、地域の中心となり連携を強めたい。子どもたちにとって最良を考えて行動したい。
- ・小中のどちらかでバザーがしたい。市民と交流を高めたい。
- ・学校支援本部の予算を確保したい。

### 4. 新しい学校施設への意見・要望

#### <活動場所>

- ・居場所が是非ほしい。「あの場所には、いつもコーディネーターがいる」と認知される場所がほしい。  
校内で職員室の近くが良い。教職員と顔を合わせて打合せを行うことが多い。
- ・校内に部屋があることで、そこから各方面に連絡や活動が展開しやすくなる。何よりも、子どもたちや先生方の近くが良い。コーディネーターに会いにくる人が学校に来ることで子どもたちの様子を見る機会が増える。
- ・子どもたちからもコーディネーターの存在やその活動がわかるようになるとよい。
- ・個人情報やお金を管理しているので鍵付きにしてほしい。
- ・地域の方々が来やすいように低層階が良い。
- ・コーディネーター用のPCや携帯電話がほしい。
- ・PTA評議委員会にも参加しているので、PTAと連携しやすい場所が良い。

#### <施設全般>

- ・職員室は1階がよい。上階になるだけで足が遠のく。中学校は外階段なので雨の日は滑って危ない。地域の方が中学校に来ることを躊躇する様子が伝わってくる。
- ・防災の観点でも、避難時にはいろいろな人が利用することになるので、使いやすい学校施設にしてほしい。
- ・子どもたちが学校に来たいと思える、明るい学校にしてほしい。
- ・地域の人たちが入りやすい学校としてほしい。そのためにもセキュリティを強化してほしい。
- ・世代を超えた関わりやつながりが子どもたちに生まれる場になってほしい。
- ・これからの中学校は子どもたちだけのものではないのではないか。地域の方々が利用する場所としても良い環境にしてほしい。新しいことが受け入れられることは難しいが、地域が利用する場として考えるとこんなこともできるようになると前向きに思える場所になってほしい。

以上

# 第3回清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会 資料6

## 現時点の計画条件について

(今後変わる可能性があります)

### 1. 整備内容

学校規模	小学校 24 クラス対応+特別支援学級
給食施設	小学校+中学校（2 校分）
複合施設	学童クラブ
プール施設	整備しない（授業は小中共に民間プールを利用）

### 2. 計画面積

校舎	7,700 m <sup>2</sup>
体育施設	1,200 m <sup>2</sup>
給食施設	400 m <sup>2</sup>
学童クラブ	検討中

参考：補助基準面積 校舎	7,720 m <sup>2</sup> (24+3 クラス※1 多目的等加算 18%含)
屋内運動場（集会室含）	1,215 m <sup>2</sup> (16 クラス以上)
給食施設	361 m <sup>2</sup> (901 人～1200 人)

※1. 補助面積算定上の特別支援学級数を 3 クラスと想定したのは、たいよう学級（情緒障害）の現在の児童数（清瀬小 9 名+清瀬第八小 9 名=18 名 定員 8 名/クラス）による。実際の計画では 3 教室しか設けないということではなく、年度によって児童数の増減があることを考慮して必要となる室・スペースの面積構成を検討する。

### 3. 校地の条件

- ・東側及び北側道路を拡幅する。
- ・小学校と中学校の敷地は一体であるものとする。  
→小学校と中学校の間には敷地境界線はないものとして新校舎の配置等を検討する
- ・現在の第2・第3学童クラブ施設（旧コミュニティハウス）は新しい学童クラブ施設が完成した後は別の用途に転用する。

## 清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画 新しい学校施設づくりの目標（案）

### 【学び】…清瀬市の学校教育のフラグシップ施設となる

- 学ぶことが楽しくなる、学校にまた行きたくなる学校施設
- 多様な子どもたちが学び合える配慮がされたフレキシブルな施設
- 先進的なテクノロジーで学びの世界が広がる環境
- 地域の協力の下、教職員が創造的な教育活動を拓ける環境
- 清瀬中学校と一体的な校地を活かし、小中が連携/協働できる施設環境

### 【生活】…いつまでも心地良く過ごせる、使える

- 一人一人の居場所が見つかる多様性のある施設環境
- 帰属感が感じられ、安心して過ごせる学級の場、学年の場
- 学年や小中を超えて、子どもと大人を超えたつながりが生まれる施設環境
- 気持ちよく学びに向かえる生活環境 …動線計画、収納、トイレ等

### 【地域】…地域と学校がつながる

- 放課後も休日もさまざまな人が学び合える開かれた施設整備
- みんなの学校施設 …垣根や敷居を外し、気軽に使える施設開放、学童クラブの利用
- 清瀬の自然や産業、人などの教育財産を学びに活かせる施設環境、場所づくり
- 既存樹木や思い出の場所の継承と発展
- 清瀬市の顔となる街路のデザインと一体的な施設整備、街並みづくり

### 【安全】…誰でも安全に安心して通える

- 体格や発達段階の違いに配慮した遊び場、運動場、校舎等の設え
- 安全に通れる周辺道路環境整備と登下校の見守り等のテクノロジーの導入
- 学校を安全に安心して地域に開く防犯機能
- 災害に強い構造・設備を兼ね備えた地域の安心を支える避難所整備

### 【環境】…SDGs（持続可能な開発目標）を実現する

- 誰ひとり取り残さない教育を実現できる施設環境
- 脱炭素社会の実現に貢献するゼロエネルギースクール
- 永く快適に利用できる維持管理の仕組みづくり

### 【共創】…みんなの学校施設はみんなでつくる

- 柔軟な発想で学校のあり方を問い合わせ直し、100年使える学校施設の創造
- みんなの想いをかたちにする開かれた施設整備のプロセス

\* グループワークのテーマ別に分けて目標案を整理しました。最終的にまとめたり、組み立て直したりすることで学校施設づくりの目標をまとめられることができればと思います。

## 第3回清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会 資料8

### 小中のつながりを活かした新しい学校の教育的 possibilityについて

学校施設の目標案 小中が隣り合う環境にあることを活かし、さまざまな場面で小中連携が図りやすい施設環境を目指すことを提案

議論の視点 小中が隣り合う環境にあることの現状の評価と課題  
小中が隣り合う環境を活かした教育的/運営的/地域連携の可能性

教師の立場から  
保護者の立場から  
地域の立場から

#### □参考

##### ・小中連携教育

小・中の教員が情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指すさまざまな教育的取り組み。

組織的な活動から個人の付き合いベースの活動、長期的かつ計画的な取り組みから一時的な取り組みまでさまざまな活動が考えられる。

##### ・小中一貫教育 参考資料9

小中9年間の教育目標を設定し、9年間の系統性・体系性に配慮した教育課程を編制し取り組む教育。

平成28年に制度化され、義務教育学校と小中一貫型小学校・中学校の2タイプがある。前者は1人の校長と1つの教職員組織で学校運営を行う形態、後者は小中それぞれに教職員組織が独立して学校運営を行う形態。

## 参考資料1

### 清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会 委員名簿

	氏名	選出区分	所属等	備考
1	長澤 悟	学識経験者	東洋大学名誉教授	
2	谷口 雄磨	校長	清瀬小学校	
3	相蘇 好	校長	第八小学校	
4	佐藤 明子	校長	清瀬中学校	
5	笠原 衣織	保護者代表	清瀬小学校	
6	中越 恵	保護者代表	第八小学校	
7	江村 弘子	保護者代表	清瀬中学校	
8	齋藤 しのぶ	社会教育委員代表		
9	俣野 洋子	公募市民		
10	高野 幸枝	公募市民		
11	大島 伸二	教育指導課長		
12	宮本 央子	教育企画課長		

## 第二回 清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップ 記録

### ■ワークショップ概要

テーマ：「新しい学びの場・生活の場・地域活動の場」

流れ：①こんな風に学べるといいな（学びの場）、過ごせるといいな（生活の場）、使えるといいな（地域活動の場）と思う場所を事例写真の中から選び、理由を付箋に書く  
②良いところ、課題等をグループで意見交換し、選んだ事例写真に共通する考えをまとめる  
③グループの代表者が発表する

日 時：2023年3月25日（土）10時～12時

会 場：清瀬市役所 研修室1・2

参加人数：13名

### ■各グループの意見

グループの代表者が発表した内容とチームごとに付箋に書かれた意見を以下に示す。

#### 「リラックスできる学校にしたい」

チーム 居場所

##### ○発表内容

- ・グループワークの始めはトイレについての内容が中心だった。
- ・トイレはLGBTQの配慮や誰にとっても居場所となる、居心地の良い場所になるとよい
- ・学びについて大きく2つあり、1つ目は子どもが場所を選べることである。例えば集中して学習できる場、運動できる場、安らげる場等である。2つ目に人と人がつながれる場所である。子ども同士で机に向かい合いにして学習することや地域と学校で交流しながら学習できる場所があるとよい。



##### ○ふせんに書かれた意見（番号は写真番号を示す）

###### <学び>

2

- ・学校から外につながりやすい環境があるとよい。（スクリーン壁プロジェクター設置）

7

- ・個とグループと使い分けられる机

- ・子どもが自分たちで組み合わせることで考える力・行動力が身につく

9

- ・子どもと大人がつながりやすい
- ・モヤツ、イラツとしたときの避難場所

10

- ・教室前に広いスペース

17

- ・好きな本を楽しめる
- ・図書館 いろいろな椅子、好きな姿勢で読める空間
- ・リラックスして仲間とくつろぎストレスを解放できる

21

- ・研究員みたいでテンションが上がる
- ・グループの意見を共有しやすい

32 57

- ・写真や映像だけではなく、なるべく実物を見てもらいたい、屋内だけではなく・・・

39

- ・雨で体育ができないときによい
- ・雨の日の休み時間等
- ・雨の日の「廊下をはしる」がなくなるスペース
- ・運動意欲、気持ちのコントロールを行う場所として

42

- ・階段のようなスペースがあると後方の子でもよく見える 見えないことで見ない子もいると思う  
その他の意見

- ・タブレットの使い方 楽しいのはよいけど、目とか体のことへの配慮必要

<選ばれた写真（学び）>





## <生活>

49

- ・男の子でもプライバシーを守りたい
- ・男の子でも個室があるとよい。小便用でも、だれでも使えるようなトイレ等

52

- ・外からも入れるトイレ
- ・誰でもトイレの位置は重要
- ・多目的トイレの場所を確保すると、女子トイレが狭くなる、スペースの確保が重要

65

- ・いろいろな場所で好きなことを

68

- ・自分の感情をコントロールできる場所
- ・逃げ込む場所が「トイレ」以外にもできるとよい
- ・ホッとできる場所が必要だけど、見守る人も必要

69

- ・見守る人がいる 居心地の良い場所

その他の意見

- ・LGBTQに配慮したトイレ
- ・制服は男女関係ないほうがよい
- ・LGBTQに配慮した更衣室

## <選ばれた写真（生活）>



## <地域>

36

- ・ボールが使えるとよい 放課後・休日

71

- ・保護者も入りやすい

71・79

- ・子ども大人、大人と大人（教員・地域）がつながりやすい場所があると思った

79

- ・保護者、地域、大人たちに学校に興味を持つてもらう

85

- ・学校の雰囲気が入る前からわかる

#### その他の意見

- ・子どもの生活や学習を支える地域資源を共有できる

<選ばれた写真（地域）>



## 「安全・安心、心がやすらぐ学校」

チーム 安全・安心

#### ○発表内容

- ・各テーマで3枚ずつ選ぶのは大変な作業だった。
- ・写真にはプールや教職員のスペース、給食調理室・ランチルーム等がなかったが、なぜないのか。計画するときには総合的な検討が必要となるだろう。
- ・子どもが過ごす場所として安全安心で楽しい場所になってほしい。そう考えたときに、充実した施設とするためには校地の半分がなくなるのでは?と思う。子どもたちが1番過ごしやすい場を実現し、子どもたちに寄り添った場所にしてほしい。
- ・避難所は写真のような場所でよいとは思えない。避難生活しやすい場としてシャワールームやトイレなどにも配慮が必要であるが、写真からは読み取れない。
- ・清瀬市は46%が自然と畑である。地域の自然を生かせるとよい。地域の人が清瀬小学校に花を植えてくれている。そういう取り組み等を通してみんなで学校づくりができるよい。
- ・今回のワークショップや策定委員会が行われている中で、保護者・児童も参加した会で意見交換できるとよい。
- ・まちづくり基本目標に達するような施設整備をしてほしい。



### ○ふせんに書かれた意見（番号は写真番号を示す）

#### <学び>

3

- ・これだけのスペースがとれるのか？

10

- ・教室を広く使用することができる

10・12

- ・集団と個がそれぞれ学びやすい場をつくる（大集団・小集団・個人・2～3人、それぞれ対応できる場所があるとよい）

16

- ・図書館が充実している

39

- ・屋内でも運動できるスペースがあるとよい

42・65

- ・絶対に必要なもの、校内に2～3か所あるとよい
- ・階段と発表スペースとして利用

64

- ・教室だけではない学びの場は子どもたちの意識を変える

#### その他の意見

- ・勉強学習の場、子どもも相互のコミュニケーションの場としての生活の場を考える、四角の教室ではなく

#### <選ばれた写真（学び）>





16



39



42



65



64

## <生活>

21

- ・特別教室は理科以外にも使用できるとよい

32・59

- ・屋外テラスを緑化して、屋内・屋外の一体化をはかる

50

- ・きれいなトイレ

51

- ・清潔なトイレと鏡の設置、大きな鏡はマスト、自分を見つめる、客観視する場所

55

- ・清掃活動の意義、空間の仕分けによる、それぞれの空間の効果的活用

62

- ・自然をいかした屋上

68

- ・落ち着くスペースが必要

72

- ・学童クラブ（人数が増えても対応できる広さが必要）

## <選ばれた写真（生活）>



21



32



59



50



51



55



62



68



72

## <地域>

1 7

- ・未就学の子どもたちも使用することができる
- ・縁があることで、本を読むだけでなくリラックスできる空間になる

3 7

- ・学校体育館の可能性を広げる

4 2

- ・様々な用途で活用できそう（教育だけではなく）

5 2

- ・バリアフリーは必要

5 3

- ・避難所として使用することを考えるといろいろな方が使用できる（ペットも含む）

8 9

- ・できるのであれば、あるとよい（水脈があるか、子どもの意識づけができそうだ）

9 1・9 2

- ・避難所はこれでよいのか

- ・避難所としての学校、生活の場として利用できる施設をつくる、仕方なくカーテン等で区分けするような形ではなく

- ・多目的室や体育館ではなく、利用しやすい避難所としてのスペースを考える

- ・階段・エレベーターの工夫が必要、利用しやすいように

<選ばれた写真（地域）>



<その他>

- ・なぜプールや教職員のスペース、給食室・ランチルームの写真がないのか
- ・保護者や児童の声を聞く必要がある
- ・自然木を利用した教室（24、25、27、68、73）



- ・自然環境をいかした校庭・屋上（31、32、36、37、58、59、62、88）



## ○発表

- ・学びについて、クラス間がオープンスペースでつながる等、教室を広く使えそうなことと見通しがよいことでいじめがなくなるということも考えられそうである。
- ・生活について、トイレや共用スペース等のみんなが利用する場所は自然光が入り明るく、色も明るい色使いがよいと思う。
- ・地域について、施設がオープンになることで交流がしやすくなるとよいと思う。一方で、セキュリティ強化が必要となり、課題もある。避難所利用もあると思うので、利用しやすい環境を整備してほしい。



## ○ふせんに書かれた意見（番号は写真番号を示す）

&lt;学び&gt;

3

- ・狭い教室ではなく、広い環境で過ごしてもらいたい

10

- ・教室とオープンスペースの間にロッカースペースがある、オープンで死角がない
- ・教室から全てがオープンになっているところが、誰が見ても目が届くのでよい（いじめ防止にも）
- ・十分な収納スペースが確保できそう
- ・学年で使える共有の場、クラス間交流に有効、ただしフルオープンができる扉はほしい

13・16・17

- ・様々なニーズに合わせた図書館、読み聞かせなど、集めてみんなで聞くことができるスペースも大切

17

- ・子どもたちがリラックスして本と向き合える、寝転んで本を読める環境などは取り入れてほしい

16・20・26

- ・図書館でプログラミング儀が体験できる、様々なことに触れられる

26

- ・学習の世界に入っていく、その学習の世界観が子供たちのワクワク感を高める

37

- ・ランニング走路のある体育館

57

- ・自然に多く触れてほしい

その他の意見

- ・全天候型 庭

- ・屋内プール

- ・明るく広々としたオープンな学校には賛成です。1つの場所がいろいろなことに利用できるとよい

<選ばれた写真（学び）>



<生活>

42・65

- ・多目的に使える場所が必要。部屋として用意していなくてもよい

49

- ・プライバシーに配慮した小便器、大便器があつたらよいと思う。誰でもトイレがよいと思う。

51

- ・薄暗いトイレは何かが起きる。外から光が取り入れられたり、鏡があつたりと、とにかく明るいほうがよい

54

- ・安全に使える。またその分廊下が広く使える

56

- ・トイレは一番大切。利用しやすい、明るい、色を付ける等（デザイン）で女子用・男子用・共用（おむつスペース）等で利用しやすくなるとよい

59

- ・屋上テラスにベンチ、芝生、大型遊具

61・69

・カウンセリング室の使用頻度はとても高い。その時の気持ちによって、外でのカウンセリングも可能となる

67

・ちょっとした交流に活用できる

68

・一人になりたいときにこういう落ち着く空間があるとよい

その他の意見

・昇降口、下駄箱

・不登校君のあるお子さんが落ち着ける空間、地域の方・若い方がいてくれる

<選ばれた写真（生活）>



<地域>

78

・家庭科室 子供食堂として利用できるとよいと思う

79

・地域と交流できる場があるのはよい

80

・地域の方との学校利用により、子どもたちとの交流を増やせるとよい（イベント・お祭り等）

81・82

・「カフェ」とまではいかないまでも、図書館を常に使えるようにして、子どもたちと交流できる場所

85

・小学校区にこういう場があると便利

- ・就学前の子供が遊べる 小学校の雰囲気を知ることが大切
- ・児童センター的に利用できる 児童館として赤ちゃんから子ども、お年寄りも利用できる空間

87

- ・学校周辺の環境整備もされるとよい

88

- ・花壇だけではなくて野菜なども地域の力を得て、行えればよい
- ・地域住民による花壇づくり、学校の雰囲気を、まず外からかかわって大切にする

90

- ・しっかりとした備蓄倉庫が必要、1か所に集めたい

91・92

- ・避難所→学校のイメージ、地域の方と一緒に訓練等ができるとよい

その他の意見

- ・セキュリティ 防犯カメラ 出入口に警備さん 若者からお年寄りまで地域の方が関わる
- ・セキュリティ 学校の窓口、受付
- ・セキュリティ強化
- ・先生方の意見も取り入れらるるとよい（先生の働く環境、休憩室、更衣室、談話室など）

<選ばれた写真（地域）>



## ■全体意見交換

佐々木さん

- ・策定委員会以外に保護者、地域、子どもが集まってプロジェクトチームをつくって取り組んでほしい。
  - ・八小の周辺住民からは、八小への想いや統合するのは寂しいという声をよく耳にするが、それらが表立っていないので、住民の声が届いていないように思う。そう言った人たちも一緒になって学校づくりができるとよい。
  - ・令和7年度からプールは民間施設を利用して授業を行うということを聞いたが、なぜその必要があるのか。それらに対する声を聞いてほしい。
- 清瀬小学校は校長先生に子どもたちの声を聞ける機会を設定できると伺えたので、ぜひ行いたいと思う。

川邊さん

- ・有事の際は学校施設を避難所として開放することとなるが、避難所として利用している事例を聞きたい。
- 今回写真で示したのは、多目的室と体育館を利用した事例である。学校に避難所のスペースを専用でつくるのは、災害時にしか利用しないスペースとなるので、現実的ではないし、スペースがもったいない。多目的スペースを利用している写真のように、避難所として開放できる室を計画していくこととなるだろう。その際には避難所として感染症対策や給水等の支援スペース、体制等も踏まえながら検討していく。

長沢さん

- ・今回用意された写真はスペースが広く、現校舎のように35人近くが狭いスペースで1日中活動するのとは違う写真が多かったように思う。その中で清瀬小学校としてどのような工夫ができるか検討が必要だろう。
- ・今回のワークショップには子どもが参加されていない。地域や実際に学校で過ごしている子どもたちの苦労やストレス等の状況を聞くことが大切である。子どもの姿に学んで、どんな学び・生活をしたいのか、詳しく掘り下げられるとよいのではないか。
- ・どの子も落ちこぼれとしない、何かあったときに子どもの個人責任にしないことが大切である。もし個人責任としまったら、子どもは学校に行かなければ問題ないと不登校になってしまう可能性もある。それは間違っている。施設としては個別対応できる部屋があるとよいと思う。居場所があることが大切。

諸川さん

- ・清小や八小に限らず、可能な限りアンケートを設置するなどをして意見を聞けるとよい。ワークショップに参加したくても、参加できない人もいると思う。
- ・避難所運営委員会を行っている。地域の方・保護者ともに参加が少なく、ボランティアも増えない。広報をしているが、情報を広めることが難しい。ぜひ皆さんにも参加してほしいし、広めていただきたい。

### 松村さん

- ・新校の計画で気になっていることがある。学校には人の出入りがあったのに、池田小学校の事件から、クローズしてきた。ただ、今回の事業で誰でも来れるようになるのであれば、運営も大きく変わるだろう。安全性について考えを伺いたい。
- 今の段階で地域に開くと確定していないが、地域に開くことで防犯性を高めることも考えられる。池田小学校の事件以来、文科省でも指針等が提示されているので、それらも参考にしながら計画する必要がある。施設だけで外部から守ろうとすると高い塀をつくる等、学校施設として制限ができてしまう。

### 谷口さん

- ・写真があることで具体的なイメージがしやすかった。
- ・各グループの発表にあったように子どもたちの場として、いろいろな視点や観点があると思った。
- ・技術的な進展もあり、100年を見据えた学校づくりが必要なのだろうと思っている。施設は技術の進展で100年後には色あせるかもしれないが、色あせないのは人の思いや関わりなのだろうと思う。
- ・思いを寄せててくれる学校にするためには、どんな教育、どんな施設が良いのか考えている。今通っている子どもたちからも声を聞き、自分たちが新校舎を使えなくても、学校づくりに関わったことや子どもたちの子どもが通うときに学校づくりに関わったと言えるような、思いを継続できる学校づくりができるとよいと思う。



1

さまざまな学びの道具が整った教室



2

臨場感あふれる仮想空間となる教室



3

ゆったり学べるスペースと家具が整った教室



4

リビングみたいにくつろげる教室

## 教室・教室まわり



5

立位で協働的に学べるテーブル



6

リラックスした学びと生活の場となるオープンスペース



7

自然と対話が生まれるテーブル



8

コミュニケーション活動が楽しくなる家具  
教室・教室まわり



9

小上がりの小空間が付いた教室



10

教室とオープンスペースの間に  
ロッカースペースがある構成



11

個別に学べる場と協働的に学べる場の  
両方が整った特別支援ルーム

### 教室・教室まわり



12

児童の持ち物収納と学習スペースを分けた  
特別支援ルーム



13

寝転ぶこともできる絵本スペース



14

学びの広場がある学校図書館



15

発表や交流の仕掛けがある図書館



16

いろいろな居場所があるゆとりある図書館

### 学校図書館・ラーニングコモンズ



寝転んで、本を読んだり寝たりできる図書館



本とデジタルの魅力の両方が  
味わえるハイブリッドな図書館



本が身近に感じられる展示棚



図書館でプログラミングが体験的に学べるメーカースペース

## 学校図書館・ラーニングコモンズ



体験したことを振り返り、みんなで共有できる  
サイエンスラボ



被服と調理がそれぞれ行いやすい家庭科室



サイエンスとアート、ものづくりが総合的に  
学べる創作工房



木の香りが漂う音楽ホール

## 特別教室



25

木造の仕組みも学べる図工室



26

作品展示スペースが迎える図工室



27

様々な創作活動が行えるアトリエ



28

材料や道具の充実した木工室

## 特別教室



29

床を使った作業ができる  
図工オープンスペース

30

学習材や成果物を展示できる  
理科専用オープンスペース

31

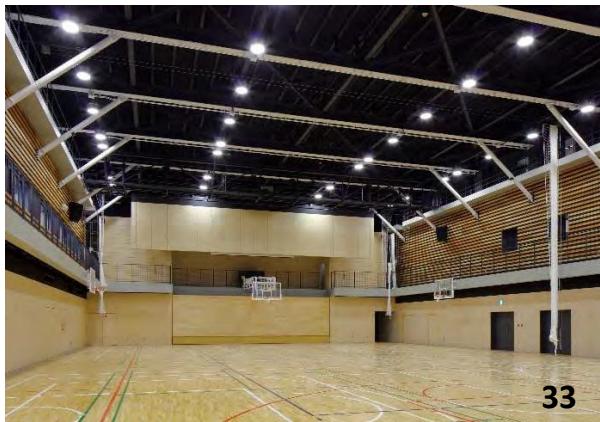
木工作業が行えるテラス



32

観察活動ができる理科テラス

## 特別教室



33

可動ステージでアリーナ面積を広げた体育館



34

ボルダリングもできる体育館



35

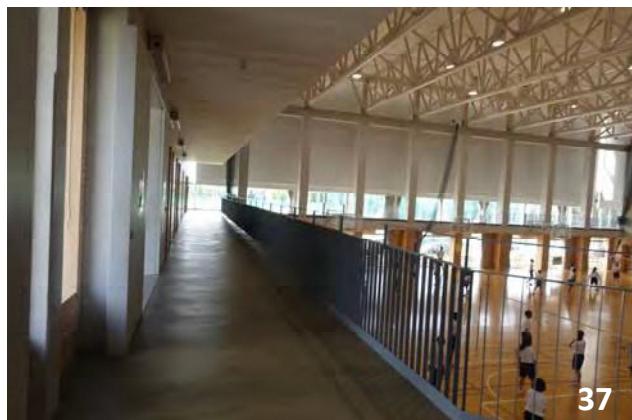
観覧席のある体育館



36

芝生化した校庭

## 運動スペース



37

ランニング走路のある体育館



38

感覚統合療法もできるプレイルーム



39

軽運動もできるオープンスペース



40

ダイナミックに遊べる大型遊具

## 運動スペース



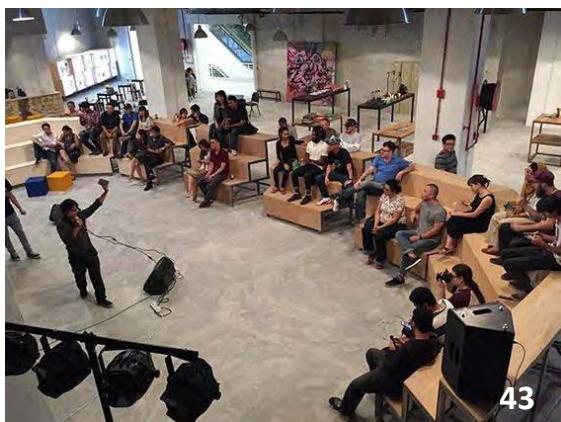
41

表現活動の場となる小ホール



42

集会や発表がすぐに行える大階段



43

ライブ感のある発表活動ができる  
オープンスペースと家具  
**集会・表現の場**



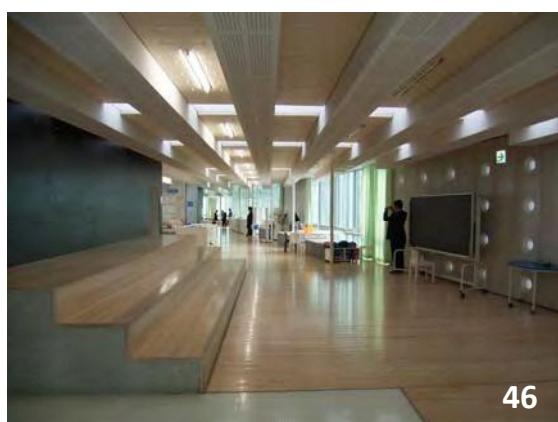
44

充実したステージのある体育館



45

小学生と中学生が協働できる多目的ホール



46

発表活動ができるオープンスペースの階段コーナー



47

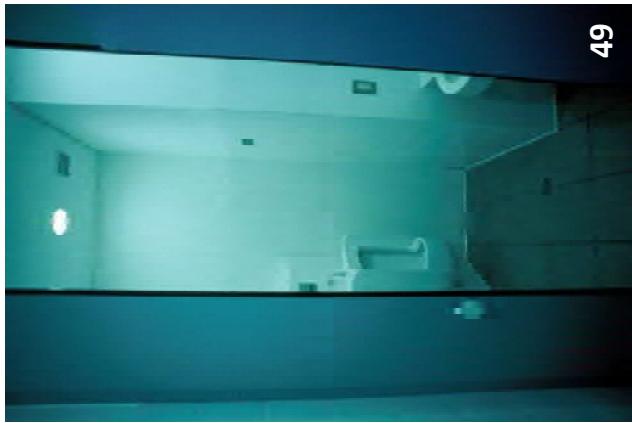
集会スペースにもなる音楽ホール（音楽室）



48

**集会・表現の場**

発表活動が行いやすい道具のそろった  
オープンスペース



プライバシーに配慮した  
小便器用のブース



隣の視線を気にしないで用を足せる小便器



大きな鏡で身だしなみを整えられるトイレ



おむつ替えもできる多目的なバリアフリートイレ

## トイレ・流しスペース



体格差を考慮して使える屋外流し



廊下に直接面さず安全に使える流しコーナー



雑巾もきれいに洗って保管できる  
お掃除ステーション



コミュニケーションを誘発する  
明るく楽しいデザインのトイレ

## トイレ・流しスペース



57

充実した自然観察ができるビオトープ



58

緑豊かな屋上庭園



59

視線が行き届き、安心して使える屋上テラス



60

ダイナミックな実験もできる中庭

## 屋外教育環境



61

すぐに使える教室前のテラス



62

中と連続して使える充実した屋上菜園



63

はだしでも遊べる遊具スペース



64

上靴のまま使えるデッキテラス

## 屋外教育環境



日常的な居場所になる階段ホール



ちょっとした交流の場となる  
居心地のよい更衣スペース



移動空間の中にあるラウンジスペース

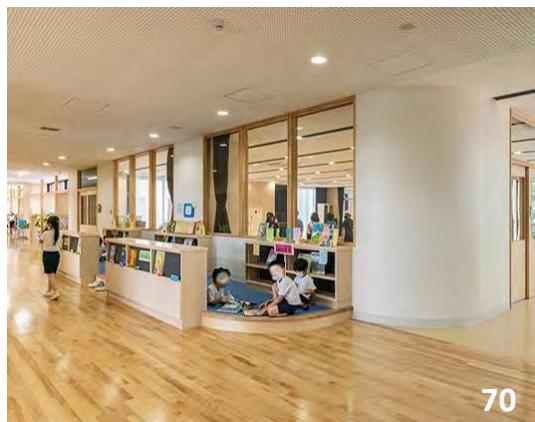


心が落ち着くオープンスペースのデン空間

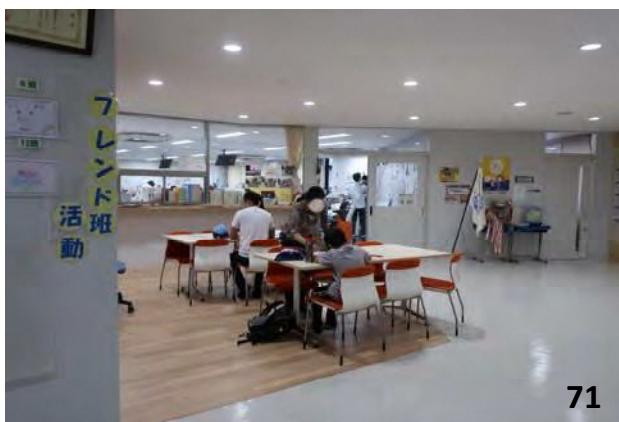
## さまざまな居場所づくり



落ち着いて過ごせる相談・カウンセリング室



靴を脱いでくつろげる小上がりスペース



先生に気軽に相談できる職員室前スペース



ゆとりのある開放的な放課後児童クラブ

## さまざまな居場所づくり



73

地域の伝統芸能を継承する小ホール



74

鼓笛隊の観客テラスがある校舎



75

地域の伝統文化の展示スペース



76

学校の歴史資料室

## その学校、その地域ならではの教育空間



77

地域活動室となる和室と一体的に使える会議室



78

地域の人たちも利用できる家庭科室



79

放課後に地域活動の場となる多目的スペース



80

地域のお祭りの場となる学校の外部スペース

## 保護者や地域住民の活動の場



81

地域の人たちも利用できるカフェ



82

地域の人たちも気軽に来て寛げるラウンジ空間



83

居心地の良いPTAや地域の支援者の活動拠点



84

地域の自治会による学校開放

## 保護者や地域住民の活動の場



85

就学前の子ども達も遊べるコミュニティースペース



86

地域のイベント会場となるコミュニティホール



87

校地内の桜を街路樹にした道路環境整備



88

地域住民による花壇づくり

## 地域と学校のつながりを深める場



89

玄関前に整備された災害井戸



90

指定避難所の備蓄倉庫



91

多目的室等の避難所利用



92

体育館の避難所利用

## 地域の避難所となる学校施設

# 《学校支援本部について》

学校支援本部は、保護者や地域の人たちと一緒に、学校が必要とする教育活動などを支援するために設置された組織です。“地域コーディネーター”が中心となり、各種活動に協力してくれるボランティアを発掘し、学校のニーズとマッチングさせ、様々な活動に取り組んでいます。

学校ごとに活動が多少異なりますが、下記の表を見ていただき、支援本部とは学校・地域・PTAをつなぐ役割がある事をご了承のほどお願い申し上げます。

学校支援本部へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(窓口)

清瀬小学校 副校長

TEL 042(493)4311

清瀬中学校 副校長

TEL 042(493)6311

## 清瀬小・中学校

### 学校のニーズ

- ◎行事の手伝い
  - ◎環境整備
  - ◎体験学習の講師
  - ◎土曜サポート
  - ◎学習サポート
  - ◎漢検・英検時のサポート
  - ◎地域見守り
- 等



## 地域

### 支援活動に協力してくれる方

- ◎保護者
- ◎地域住民
- ◎企業
- ◎NPO
- ◎青少協
- ◎避難所運営連絡協議会

## 学校支援本部

相談

紹介

協力・要請

学校支援

## PTA



校長先生とコーディネーターは共通理解

清瀬小学校・清瀬中学校学校支援本部コーディネーター

池田 泉

諸川 幸子



令和5年2月26日

清瀬中学校学校支援本部

池田 泉

諸川 幸子

## 《図書館リニューアル》

この度、図書館の改装を行いました。図書館の改装にあたり、PTAの皆様にご協力いただきまして、カーテンを共同購入することができました。また、支援本部より緑の装飾は寄付させていただきました。

図書館は本を読むだけではなく、放課後の学習スペースや子供たちがくつろげる空間になればと思っております。

是非、保護者の皆様も図書館にお越しください。



# 清瀬小学校 ボランティア

## 大募集！！

子ども達があなたの力をお待ちしています

授業や放課後学習のサポート、環境整備（花壇づくり）、サタデースクールの見守り、運動会やお祭りの手伝い・見守りなどのボランティアを募集しております。関心がある皆さん、ご協力を  
お願いいたします。

**学校支援本部とは？**

地域の人たちと一緒にになって、学校が必要とする教育活動などを支援するために設置された組織です。“地域コーディネーター”が中心となり、各種活動に協力してくれるボランティアを発掘し、学校のニーズとマッチングさせ、様々な活動に取り組んでいます。



ブランクのある方、初めての方でもお気軽にご応募ください！

**対象**

教職員、教務経験者、大学生、民生委員、児童委員、児童健全育成経験者、卒業生・卒業生の保護者の方、地域の方

**申込**

申込フォームはこちら→



こちらの QR コードを読み込んでいただくと登録  
申込フォームが開きそのまま申込できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S8443667/>

(お問い合わせ先)

清瀬市立清瀬小学校

学校支援本部コーディネーター 担当：池田・諸川

電話番号 042-493-4311

メールアドレス : kiyosesyo.shien@gmeil.com



# 清瀬中学校 ボランティア

## 大募集！！

子ども達があなたの力をお待ちしています

授業や放課後学習のサポート、環境整備(花壇づくり)、漢字検定・英語検定の試験監督、運動会やお祭りの手伝い・見守りなどのボランティアを募集しております。関心がある皆さん、ご協力を  
お願いいたします。

### 学校支援本部とは？

地域の人たちと一緒にになって、学校が必要とする教育活動などを支援するために設置された組織です。“地域コーディネーター”が中心となり、各種活動に協力してくれるボランティアを発掘し、学校のニーズとマッチングさせ、様々な活動に取り組んでいます。



ブランクのある方、初めての方でもお気軽にご応募ください！

#### 対象

教職員、教務経験者、大学生、民生委員、児童委員、児童健全育成経験者、卒業生・卒業生の保護者の方、地域の方

#### 申込

申込フォームはこちら→



こちらの QR コードを読み込んでいただくと登録  
申込フォームが開きそのまま申込できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S52147483/>

(お問い合わせ先)

清瀬市立清瀬中学校

学校支援本部コーディネーター 担当：池田・諸川

電話番号 042-493-6311

メールアドレス : kiyosechu.shien@gmeil.com



# これからの 学校と地域

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動



# はじめに

近年、急激な社会の変化に伴い、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化、多様化しています。

学校は、いじめや暴力行為等の問題行動の発生、不登校児童生徒数の増加、特別な配慮を必要とする児童生徒数の増加など、多様な児童生徒及び保護者等への対応が必要な状況となっています。また、そのような学校の役割の拡大により教員の業務量が増加しているといった課題も出てきています。

一方、地域においても、家族形態の変化、価値観やライフスタイルの多様化等により地域社会における支え合いやつながりが希薄化することによって、地域社会の停滞や教育力の低下などが指摘されています。

こうした状況の中、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という新学習指導要領の目標を学校と地域とが共有し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子供たちの成長を支えていくことが必要です。

文部科学省では、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な実施を推進しています。

## 「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて

◆なぜ今、**コミュニティ・スクール**と**地域学校協働活動**が必要なのか？

**背景** 時代の変化に伴い学校と地域の在り方が変化

◆教育環境を取り巻く状況

- 児童生徒数の減少
- 子供の規範意識等への課題
- 学校が抱える課題の複雑化・困難化

◆教育改革の動き

- 「社会に開かれた教育課程」の実現など

◆社会の動向

- 少子高齢化の進行
- グローバル化や情報化の進展
- 地域社会のつながりや支え合いの希薄化による地域の教育力の低下

◆地方創生の動き

- 学校を核とした地域の活性化

### 求められるものとは…

◆これからの時代を生き抜く力の育成（学校だけでは得られない知識・経験・能力）

◆地域住民が自ら地域を創っていくという「主体的な意識」への転換



## 学校と地域の連携・協働が必要

具体的な取組として…

**コミュニティ・スクール**

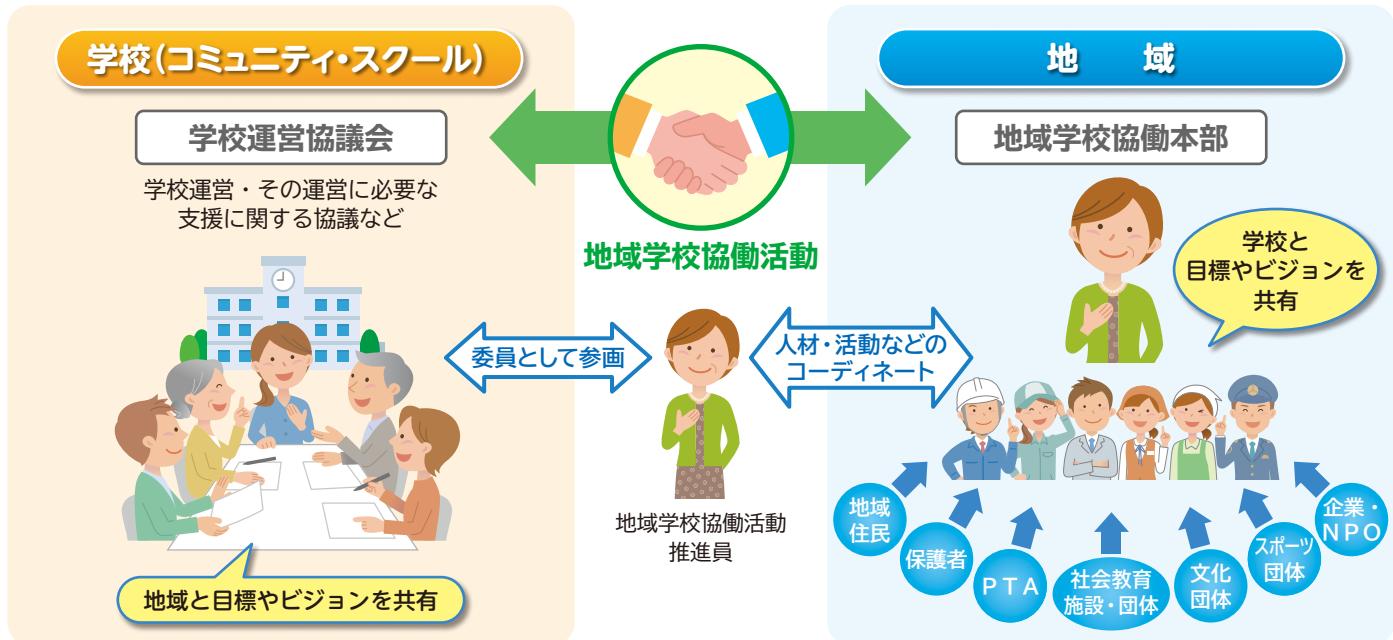


**地域学校協働活動**

『目標』や『ビジョン』  
の共有

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を併せて実現！

# コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるためには、**まず関係者で目標やビジョンを共有することが重要で、学校運営協議会の協議や熟議<sup>(※)</sup>等がその役割を果たします。**その結果を踏まえ、幅広い地域住民等が参画することによって、**教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化**につながります。

学校運営協議会と地域学校協働本部は、それぞれがもつ役割を十分に機能させ、**一体的に推進することで**、相乗効果を発揮し、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が一層進んでいくことが期待されます。

※「熟議」とは…多くの当事者が「熟慮」と「議論」によって問題の解決を目指す対話のこと。様々な立場の関係者が一つのテーブルにつくことで、新しいアイディアや考え方方が生まれます。

## 学校と地域、双方から見たPDCA（計画→実行→評価→改善）

効果的かつ持続的な学校運営と地域学校協働活動の仕組みを構築するためには、**学校運営協議会と地域学校協働活動のそれぞれのPDCAを回しつつ、お互いが連携・協働することが重要です。**



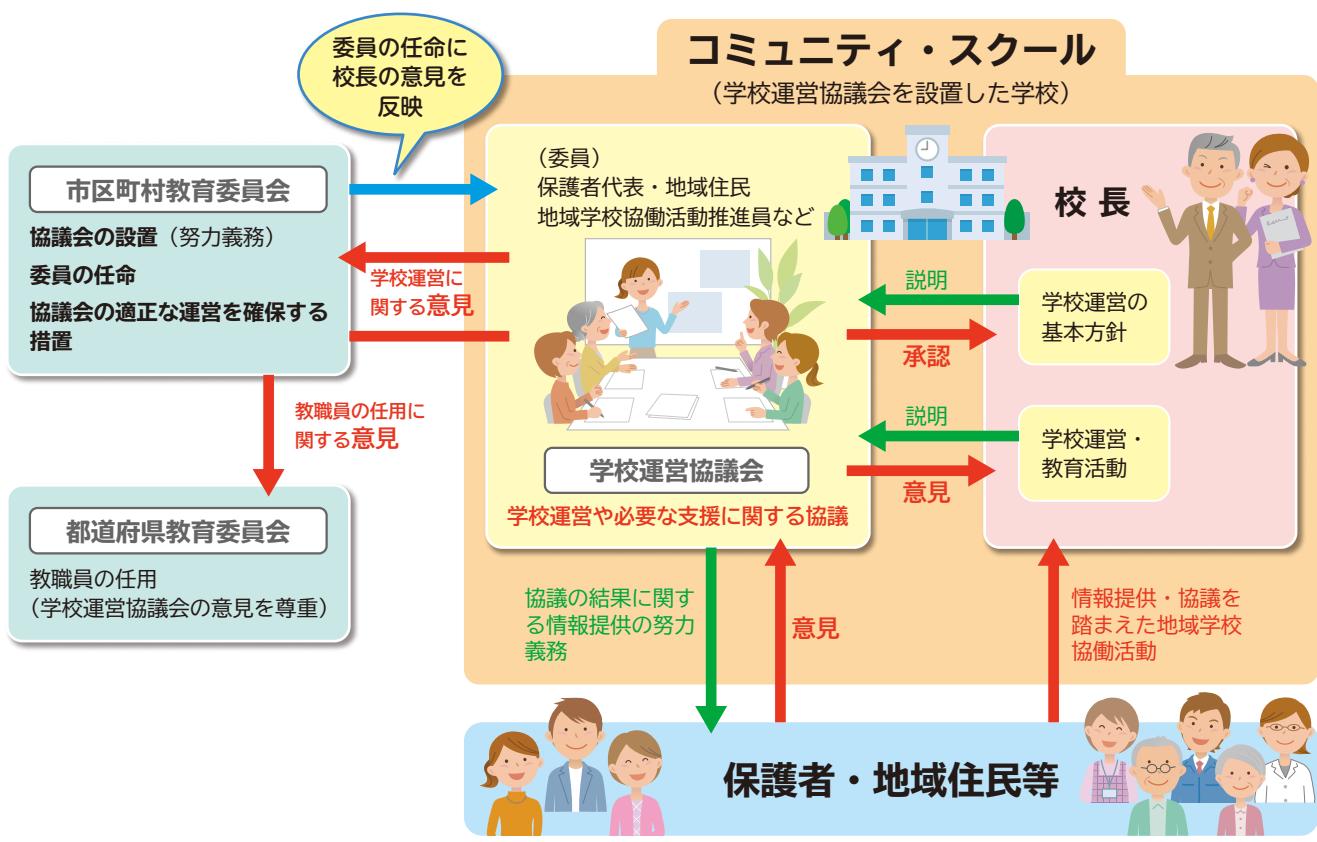
## コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクール = 学校運営協議会を設置した学校

## 学校運営協議会とは・・・

法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。

## コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の仕組み



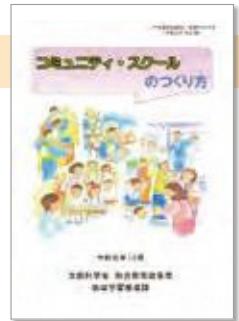
- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
  - ②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
  - ③教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる

～より詳しくコミュニティ・スクールについて知りたい方へ～

## 「学校運営協議会」設置の手引き（令和元年 改訂版）

主に自治体や学校の関係者を対象に、コミュニティ・スクールについてより詳しく解説しています。これからコミュニティ・スクールの導入を検討される場合には、是非ご活用ください。

\*パンフレットは「学校と地域でつくる学びの未来」のHPよりご覧いただけます。



# 地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

次の時代を担う子供たちに対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、学校と地域が連携・協働します。

地域学校協働活動は、社会教育法第5条第2項により、学校と協働して行う以下の活動と規定されています。

- 学校の授業終了後又は休業日において学校、社会教育施設等で行う学習、その他の活動
- ボランティア活動、社会奉仕体験活動、自然体験活動、その他の体験活動
- 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して学校、社会教育施設等で行う教育活動、その他の活動

## 学びによるまちづくり。 地域課題解決型学習・郷土学習

- 地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化の方策を考え、実行する学習活動
- 「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする学習活動
- 地域の産業や商店街の職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習など



## 放課後子供教室

- 地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動



## 地域未来塾

- 全ての児童生徒を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援



## 家庭教育支援活動

- 寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくりなど



## 学校に対する多様な協力活動

- 登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子供たちへの本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援、企業等による出前授業等の教育プログラムの提供など



## 地域の行事、イベント、お祭り、 ボランティア活動等への参画

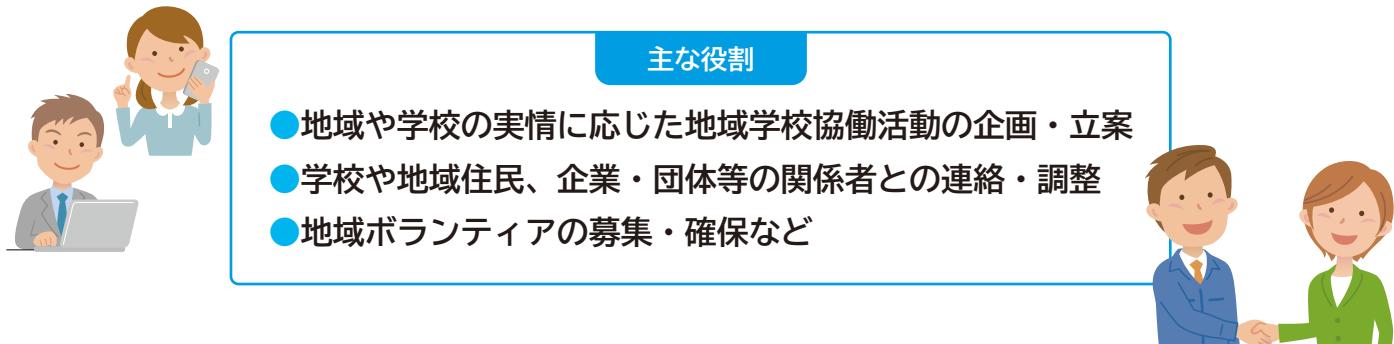
- 地域イベントにおけるボランティア体験学習、伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画など



# 地域学校協働活動推進員の配置

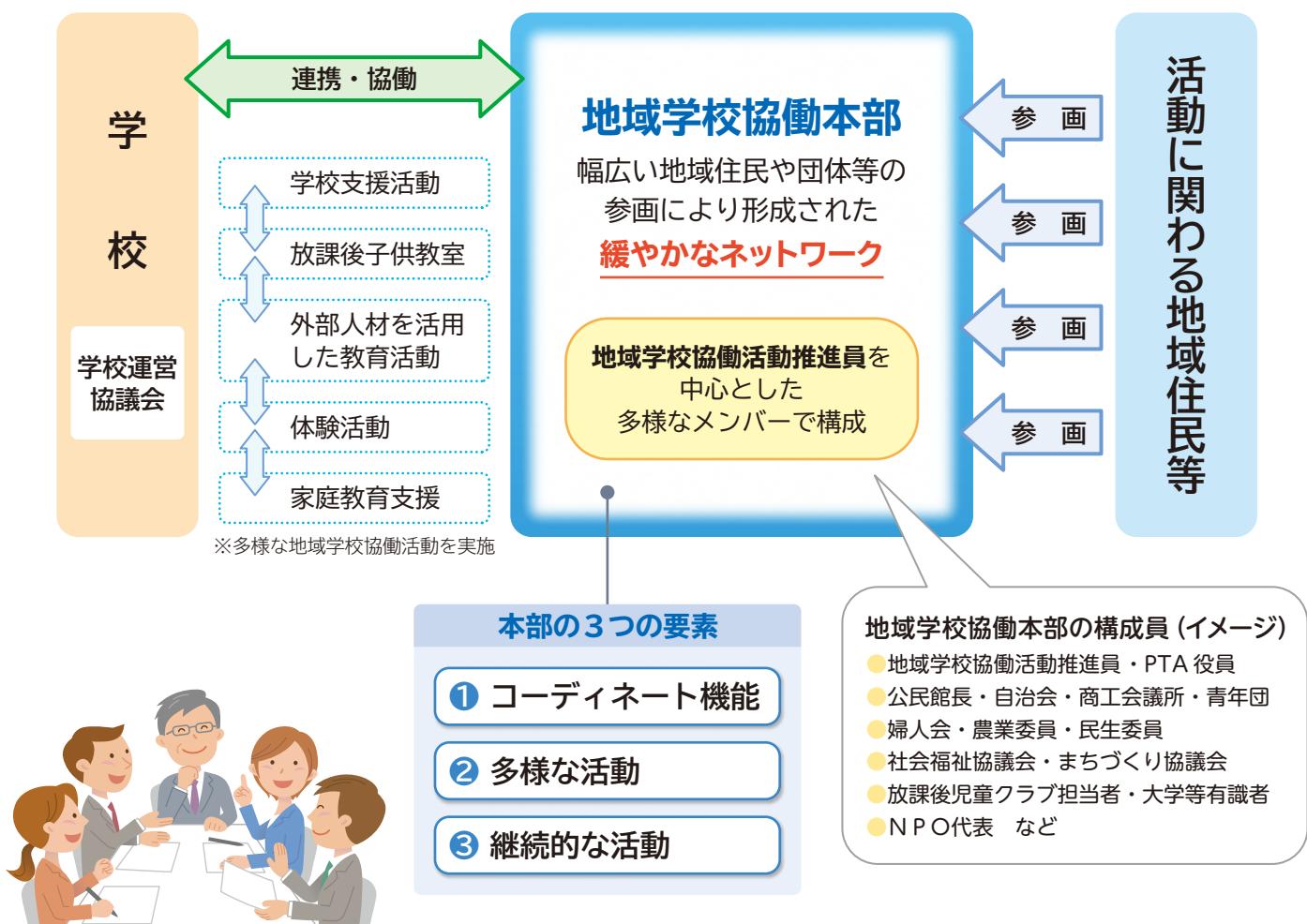
地域学校協働活動を推進するためには、学校と地域をつなぐコーディネーターの役割は必要不可欠です。「地域学校協働活動推進員」は、社会教育法に基づき教育委員会が委嘱する地域住民等と学校との連絡調整等を行うコーディネーターです。

「地域学校協働活動推進員」として法律に位置付けられた明確な立ち位置で地域学校協働活動を推進することにより、継続的で円滑な活動を行うことができます。

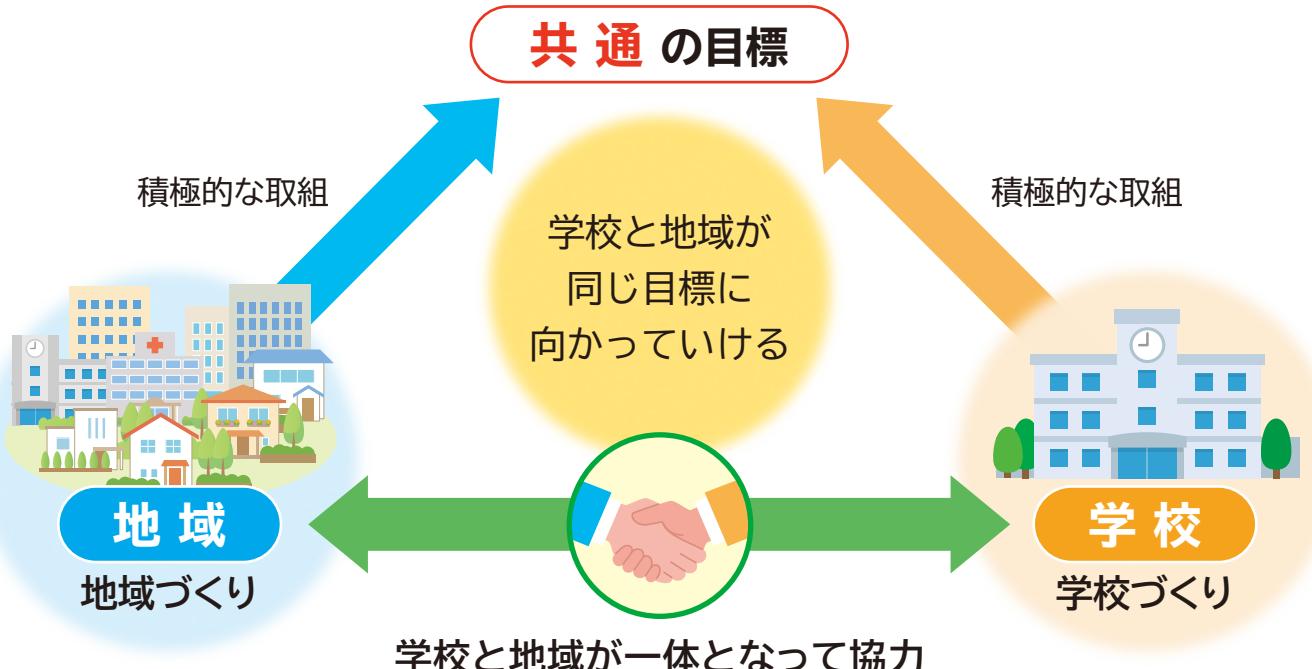


## 地域学校協働本部の整備

地域学校協働活動の推進に当たっては、「地域学校協働本部」を整備することが有効です。教育委員会は、地域学校協働本部の整備について、積極的な支援を行うことが重要です。



# 学校と地域がパートナーとなることで・・・



保護者・地域住民等も教育の当事者になることで、責任感をもち、  
積極的に子供の教育に携わるようになる。

- 近所に元気のない様子の子供がいても、なかなか声をかけることができない
- 子供のマナーについて学校へ苦情の電話

- 積極的な声掛けや自ら指導する機会が増える
- 学校任せではなく、地域が学校とともに対策を考える

保護者・地域住民等が学校運営や教育活動へ参画することで、  
生きがいにつながり、子供たちの学びや体験が充実。

- 自分の経験を生かして学校や子供のサポートをしたいが、迷惑にならないか
- 地域の人と関わる機会が減ってきている
- 地域人材を活用した学習が単発で終わってしまう

- 地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現する
- 学校を中心に地域がつながり、地域の活動が活発になる
- 地域の創意工夫や特性を生かすことで、学校での学びがより豊かで広がりを持つようになる

保護者・地域住民等と学校が“顔が見える”関係となり、  
保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現。

- 一方的な意見が数多く学校に寄せられる
- 学校が保護者や地域住民の様々な要望の対応に追われている

- 学校の現状や方針への理解が深まり、地域が学校の応援団になる
- 地域の協力により教職員が子供と向き合う時間が増える

その他にも・・・

学校と地域の協力体制が築かれることで、生徒指導、防犯、防災等の面でも課題解決に向けて効果が期待されます。

# 文部科学省の取組に関する参考情報

## 学校と地域でつくる学びの未来HPトップ

全国の取組事例などの地域学校協働活動やコミュニティ・スクールに関する情報をまとめて掲載しています。

学び未来

検索

◇URLはこちら

<https://manabi-mirai.mext.go.jp>

Facebookでも情報発信中

CSマイスターの活動や推進フォーラムの情報、また自治体の取組情報等を随時発信しています。



## コミュニティ・スクール推進員(CSマイスター)

文部科学省では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動のさらなる推進を目指し、コミュニティ・スクールの導入を進めている地域に対して積極的な支援を行うこととしています。その一環として、CSマイスター（コミュニティ・スクールの導入や実践経験を有する元校長や教育長、学校運営協議会会長等）を派遣し、教育委員会事務局職員・学校の管理職・学校運営協議会委員候補者等を対象とした研修会や制度説明会等を支援しています。

CSマイスター派遣事業の詳細及び申し込みはHPから

◇URLはこちら

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/chiiki-gakko/cs.html>



## 企業等による教育プログラム

文部科学省では、子供の豊かな学びを支えるために、多様な企業・団体・大学等に「土曜学習応援団」に御賛同（御参画）いただき、夏休み、冬休み等の長期休暇、平日の授業や放課後、土曜日・日曜日の教育活動に出前授業の講師や施設見学の受入等により参加していただくことで特色・魅力のある教育活動を推進しています。

◇URLはこちら

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/program/index.html>



## 地域とともにある学校づくり推進フォーラム

文部科学省では、地域とともにある学校づくりに向けて取組の充実や普及を図るために、保護者、地域住民、学校関係者等を対象としたフォーラムを開催しています。

フォーラムの開催の時期や内容等については、随時「学校と地域でつくる学びの未来HP」でお知らせしています。



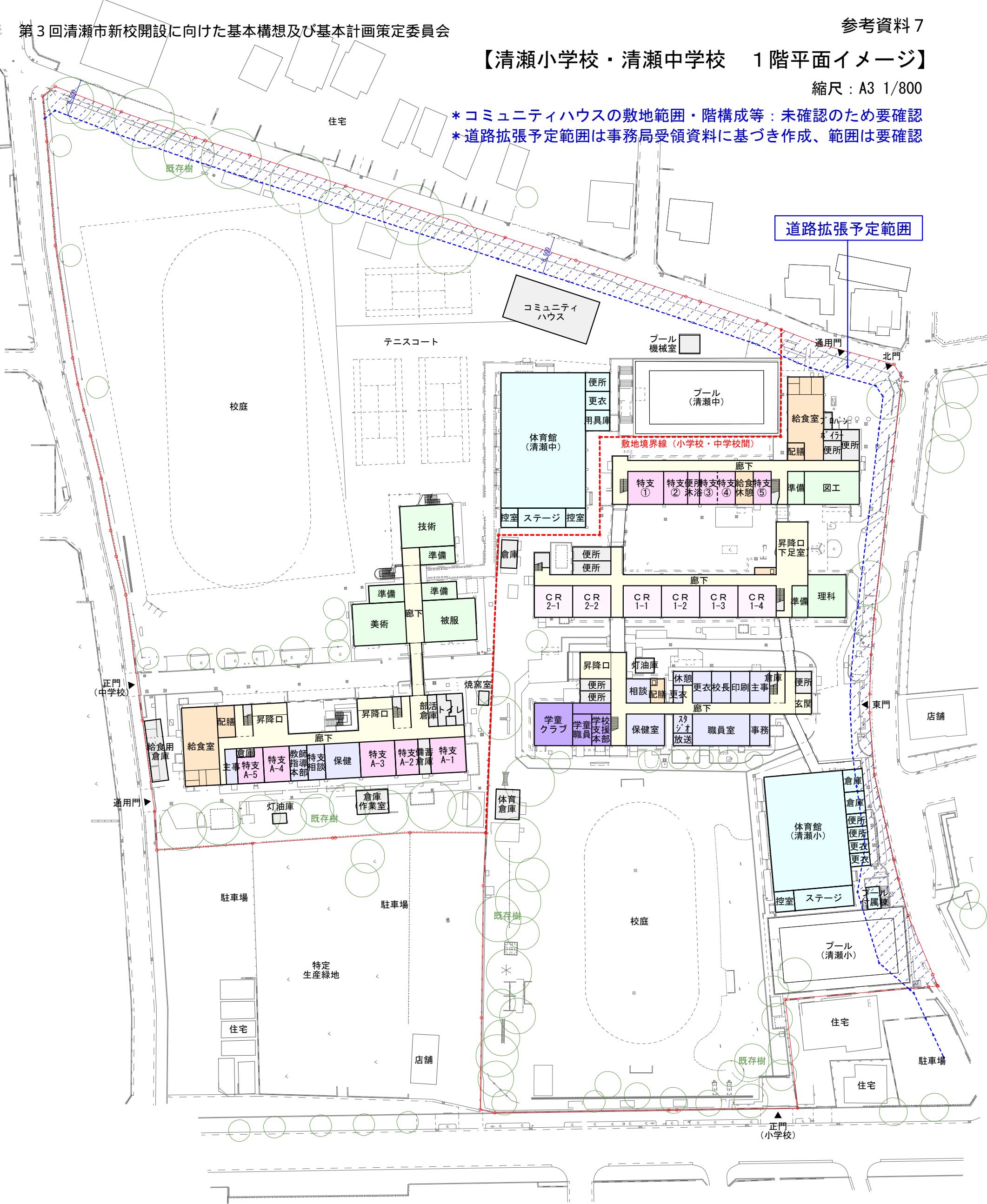
文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

## 【清瀬小学校・清瀬中学校 1階平面イメージ】

縮尺 : A3 1/800

\* コミュニティハウスの敷地範囲・階構成等 : 未確認のため要確認  
 \* 道路拡張予定範囲は事務局受領資料に基づき作成、範囲は要確認



## 凡例

■ 普通教室	■ 体育館・プール
■ 特別支援学級	■ 給食室・配膳室
■ 特別教室	■ 学童クラブほか
■ 図書室・更衣室ほか	■ 共用部
■ 管理諸室	■ トイレ・倉庫ほか



【清瀬小学校・清瀬中学校 2階平面イメージ】

縮尺 : A3 1/800



凡例

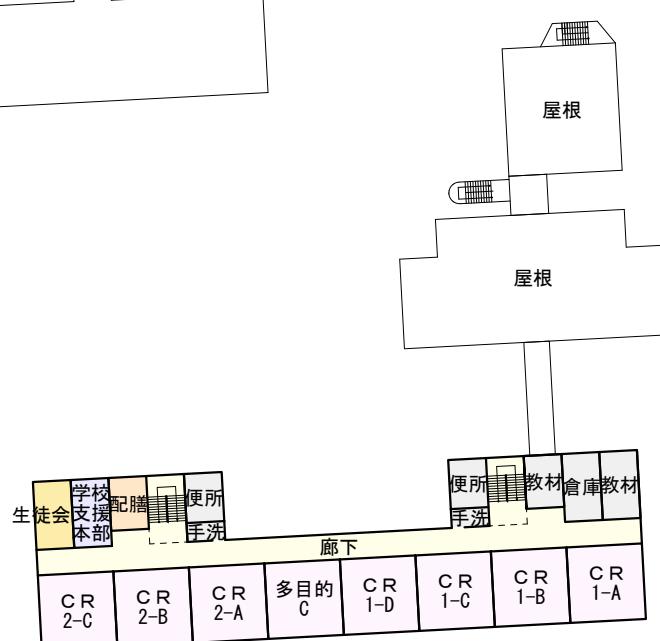
: 普通教室	: 体育館・プール
: 特別支援学級	: 給食室・配膳室
: 特別教室	: 学童クラブほか
: 図書室・更衣室ほか	: 共用部
: 管理諸室	: トイレ・倉庫ほか



【清瀬小学校・清瀬中学校 4階平面イメージ】

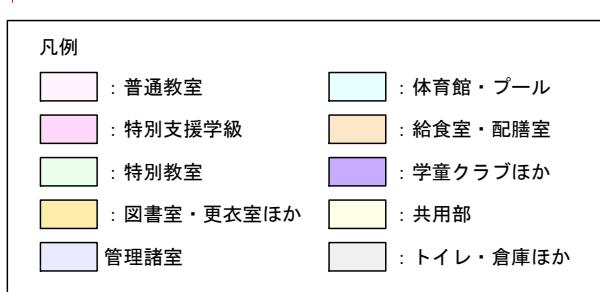
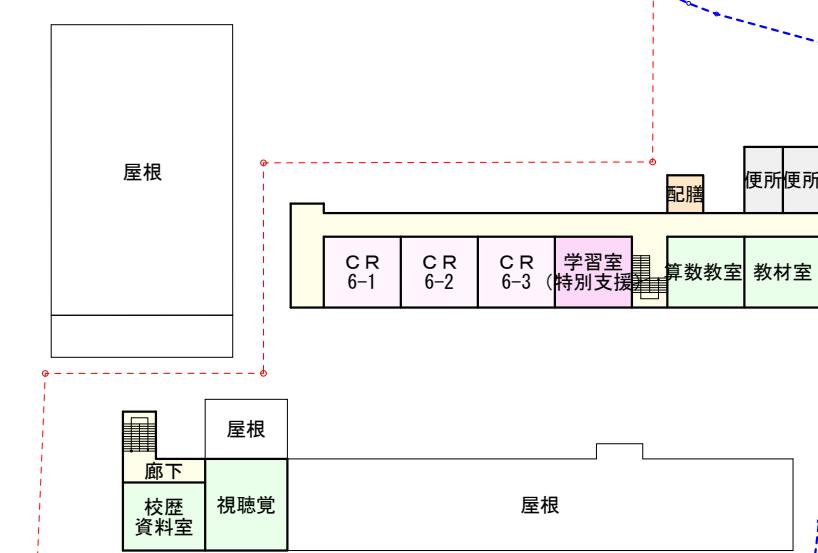
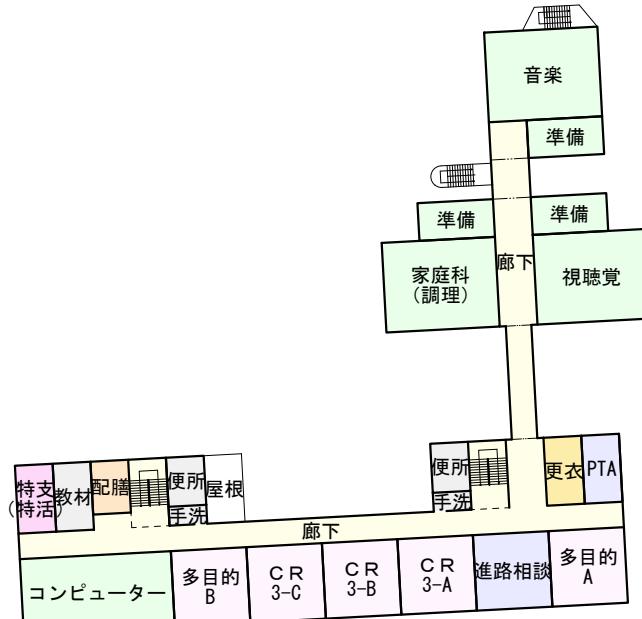
縮尺 : A3 1/800

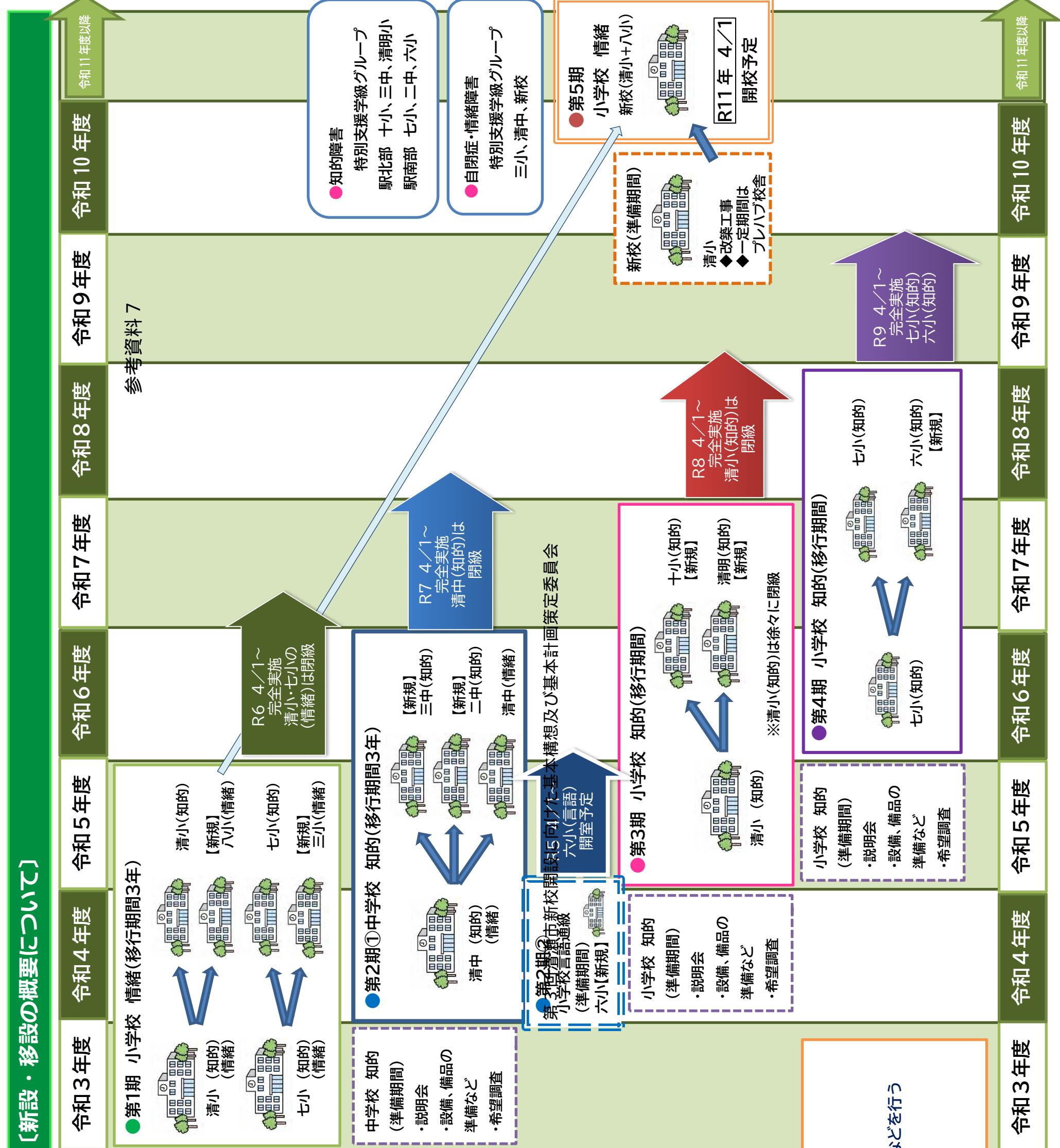
## 【R階平面イメージ】



【清瀬小学校・清瀬中学校 3階平面イメージ】

縮尺 : A3 1/800





清瀬市特別支援学級再編計画〔新設・移設の概要について〕

## 清瀬市特別支援学級再編計画 〔新設・移設の概要について〕

- 基本的な考え方
    - 一校あたりの特別支援学級数を減らして、指導スペースにゆとりをもたらせます。
    - 一校一障害種として、通常の学級との「交流及び共同学習」を充実させる環境を整え、より一人に応じた指導を実現させます。
    - 公共施設の再編や地理的条件を踏まえた設置を行います。
  - 交流及び共同学習の充実
    - 障害種別(知的、情緒)の障害特性に応じた教科等における交流及び共同学習の充実
    - 遠足(旅行)・集団宿泊の行事における交流及び共同学習の充実
    - 通常の学級における教員及び児童・生徒の理解促進
  - ◆推進体制の構築
    - 就学相談体制の更なる充実
    - 保護者、地域等における特別支援教育の理解発信の推進
    - 校内における推進体制の構築

- 3年間の移行期間について
- 1年目　　**体験・訪問期**
  - ▶ 学期に1回程度、新設校への訪問し、見
- 2・3年目　**新設・移設期**
  - ▶ 4月から希望に応じて転学

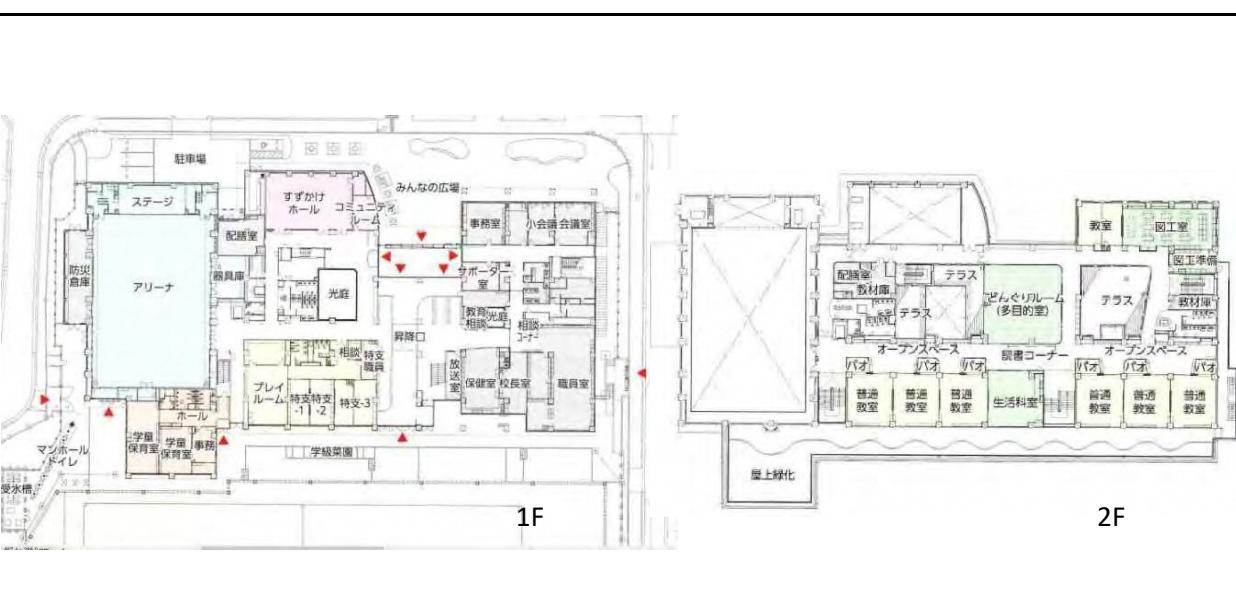
		義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校	
			中学校併設型小学校 小学校併設型中学校	中学校連携型小学校 小学校連携型中学校
設置者	—		同一の設置者	異なる設置者
修業年限	9年 (前期課程6年+後期課程3年)	小学校6年、中学校3年		
組織・運営	一人の校長、一つの教職員組織	それぞれの学校に校長、教職員組織		中学校併設型小学校と小学校併設型中学校を参考に、適切な運営体制を整備すること
免許	原則小学校・中学校の両免許状を併有 ※ 当分の間は小学校免許状で前期課程、中学校免許状で後期課程の指導が可能	所属する学校の免許状を保有していること		
教育課程	・9年間の教育目標の設定 ・9年間の系統性・体系性に配慮がなされている教育課程の編成			
教育課程の特例	一貫教育に必要な独自教科の設定	○	○	○
	指導内容の入替え・移行	○	○	×
施設形態	施設一体型・施設隣接型・施設分離型			
設置基準	前期課程は小学校設置基準、後期課程は中学校設置基準を準用	小学校には小学校設置基準、中学校には中学校設置基準を適用		
標準規模	18学級以上27学級以下	小学校、中学校それぞれ12学級以上18学級以下		
通学距離	おおむね6km以内	小学校はおおむね4km以内、中学校はおおむね6km以内		
設置手続き	市町村の条例	市町村教育委員会の規則等		

## 小中一貫教育校のタイプ

出典：小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引  
平成28年12月26日  
文部科学省

## 視察候補

第3回清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会 参考資料10

学校名	立川市立若葉台小学校	
特色	教室まわりの充実、コンパクトな構成	
写真	 	
	  	
配置図 平面図		
建設年月	令和3年2月	
児童数 学級数	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級数18（特別支援学級3）</li> <li>児童数511名（特別支援学級19名）</li> </ul> <p>（令和4年4月）</p>	
規模等	<p>普通教室数：20室            敷地面積：15,978m<sup>2</sup>            建築面積：4,382m<sup>2</sup> 延床面積：10,739m<sup>2</sup>            構造規模：RC造・S造・SRC造 地上4階建</p>	
備考	複合施設：学童保育施設	